

あら
便利! 編集印刷2 Pro

あると便利な印刷ユーティリティソフト

販売元: 株式会社ライフポート

開発元: 株式会社アクティブウェブ インタラクト

利用ガイド



あら便利！編集印刷2 Pro 利用ガイド

『あら便利！編集印刷2 Pro』のプログラムと利用ガイドは、著作権法で保護された著作物であり、その全部あるいは一部を株式会社ライフボートの事前の明示的な許可なく複製したり、転送したり、格納したり、他のコンピューター用に変換したり、あるいは他の言語に翻訳したりすると、著作権の侵害になります。

『あら便利！編集印刷』は、株式会社ライフボートの商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

注意

この利用ガイドに記載されている情報は、予告無しに変更されることがあります。

株式会社ライフボートは、本利用ガイドあるいはプログラムに記載されている内容に対していかなる誤りが含まれる場合にも、一切の保証を行いません。

EDITION

December 2016

Copyright© 2016 by Lifeboat, inc.

All rights reserved.

Printed in Japan

PUBLISHED BY

株式会社ライフボート

東京都千代田区神田神保町 2-2-34

ホームページ: <http://www.lifeboat.jp/>

目 次

第 1 章	あら便利！編集印刷 2 Pro の概要	5
第 1 節	製品の概要と機能について	5
第 2 節	動作環境	5
第 3 節	注意事項	6
第 2 章	インストール	7
第 1 節	インストール	7
第 2 節	アンインストール	13
第 3 章	使用方法	15
第 1 節	プレビュー画面の起動	15
第 2 節	スタートメニュー	19
第 3 節	ツールバーについて	20
第 4 節	プレビュー画面のキーボードによる操作	23
第 5 節	異なる形式のデータを結合（合成印刷）	24
第 6 節	編集イメージの印刷	28
第 4 章	機能について	29
第 1 節	印刷の設定	29
第 2 節	割り付けとサムネイル印刷	30
第 3 節	ヘッダーやページ番号の挿入	32
第 4 節	ページ編集	34
第 5 節	地紋の挿入	36
第 6 節	インク/トナーの節約	39
第 7 節	プレビュー画面の表示変更	39
第 8 節	描画オブジェクトの挿入	41
第 9 節	オブジェクトの編集	44
第 10 節	読み込みと保存	46

第 11 節	差し込み印刷.....	50
第 12 節	オブジェクトの位置揃え.....	55
第 5 章	オブジェクトの詳細設定	57
第 1 節	テキスト.....	57
第 2 節	イメージ.....	63
第 3 節	図形.....	65
第 4 節	フリーハンド	69

第1章 あら便利！編集印刷2 Proの概要

第1節 製品の概要と機能について

『あら便利！編集印刷2 Pro』（以下「編集印刷2 Pro」）は、様々な書式の印刷データを1ページ内に割り付けて印刷できる他、多彩な編集機能やインク/トナーの節約、地紋（すかし）の挿入等の機能を備えた印刷ユーティリティソフトです。本バージョンは、スキャナで読み取ったイメージを印刷ページとして割りつけたり、編集した印刷イメージを画像ファイルで保存したりする機能等を新たに追加しています。

- 様々な書式の印刷データを1ページ内に割り付けて印刷する複合印刷機能
- 割り付けた印刷データの編集（レイアウト変更）機能
- 写真データのサムネイル（8/16/32 分割）印刷
- ヘッダー/フッター、ページ番号の挿入機能
- インク/トナーの節約（最大 75%カット）印刷機能
- 印刷時にすかしを挿入し、文書の複写を防止する地紋機能
- 編集中の印刷イメージを画像ファイルや再編集可能な専用形式のファイルとして保存可能
- テキスト、図形、線、画像等を挿入できる編集機能
- 指定した領域の強調表示（マーキング）や塗りつぶし機能
- テキストファイルのデータを指定領域に割り当てる差し込み印刷機能
- 画像ファイルやスキャナからの読み込みイメージを印刷ページに割り付け可能

第2節 動作環境

対応OS	日本語Windows 10/8.1/7（32/64ビット）
対応機種	上記OSが稼働するPC
CPU	Intel Pentium またはその互換CPU 最低1GHz以上 （Intel Core2またはその互換CPU 2GHz以上を推奨）
メモリー	1.5GB以上（2GB以上を推奨）
ディスク容量	20MB以上

第3節 注意事項

- インク/トナーの節約は、印刷した結果の実質的な節約率を保証するものではありません。プリンタやトナー/インク、利用状況により結果は異なります。
- 古いプリンタドライバを使用している場合、節約印刷の品質面で期待した結果が得られない場合があります。その際には最新のプリンタドライバに変更してください。最新のプリンタドライバはメーカーのホームページ等から入手できます。また、印刷データの内容やプリンタにより、思うような印刷品質を得られない場合があります。
- CD/DVD レーベル印刷など、一部の特殊な印刷は、「編集印刷2 Pro」を経由すると正しく印刷されない場合があります。その場合には、確認画面上で「プリンタに直接印刷する」を選択して印刷を行ってください。
- PCのメモリー不足、CPUのパワー不足、または、接続インターフェースの速度などにより節約処理に時間が掛かる場合があります。
- 「Internet Explorer」等の一部アプリケーションでは、印刷時に確認画面を閉じた後、確認画面の残像が稀に残る場合があります。印刷が終了すると残像は消えます。表示上の問題だけであり、印刷処理自体には問題はありません。
- プリンタドライバや環境に依存しませんので、インクジェット、レーザ、複合機など、ほとんどのプリンタで利用が可能です。ドットマトリクスプリンタおよびプロッタ、その他特殊なプリンタには対応しません。
- アクティブウェーブ インタラクト社製品 (ecoPrint5 シリーズ、secuPrint5 Watermark シリーズ、secuPrint5Steganos シリーズ、あら便利！編集印刷)がインストールされている場合、これらの製品は予めアンインストールしてください。
- インク/トナーを削減する常駐型ソフトがインストールされている場合、節約機能が多重適用される可能性があります。印刷時に「節約しない」など常駐型ソフトの機能を使用しないで印刷してください。
- プリンタがご使用の環境に対応していない場合、本製品は使用できません。

<以前のバージョンをご利用の場合>

- 以前のバージョン「あら便利！編集印刷Pro」にて保存したファイル、オブジェクトは本バージョンで利用可能です。

第2章 インストール

第1節 インストール

インストールするにはライセンスキーが必要です。事前にご用意ください。
(ライセンスキーはパッケージ製品の場合、同梱された「お客様控え」に記載されています。ダウンロード版は購入後に配信されるメールをご覧ください。)

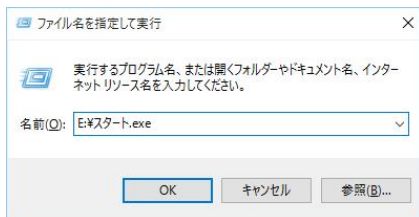
※ インストールは必ず管理者権限で Windows にログオンしてから実行してください。

※ プリンタの接続と設定をあらかじめ済ませておいてください。

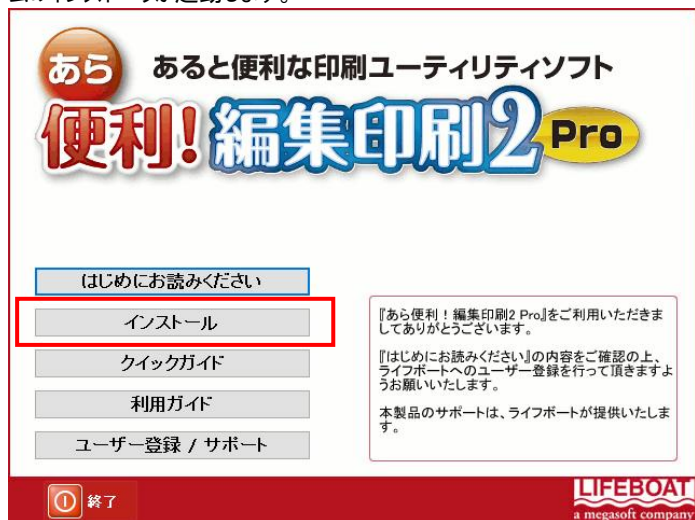
1. 「編集印刷2 Pro」のCD-ROMをドライブにセットすると、自動再生のメニューが表示されますので、「スタート.EXEの実行」を選択してください。メニューが起動しない場合は、Windowsの「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択して、「E:¥スタート.EXE」と入力して(CDドライブがEの場合)、「OK」をクリックします。



自動再生のメニューが表示されない場合はディスクを参照して「スタート.exe」を実行します。



2. インストール用のメニュー画面が起動します。「インストール」をクリックすると、プログラムのインストーラが起動します。



＜メニューの説明＞

はじめにお読みください	readme.txt を開きます。インストールを開始する前に、必ずお読みください。
インストール	「編集印刷 2 Pro」のインストールを開始します。
クイックガイド	クイックガイド(PDF)を開きます。
利用ガイド	今ご覧いただいているドキュメント「編集印刷2 Pro 利用ガイド」(PDF)を開きます。
ユーザー登録 / サポート	オンラインユーザー登録、サポートセンターの利用方法等の情報を表示します(次のページを参照)。
終了	メニュー画面を終了します。

「サポート」を選択すると以下のページが表示されます。

あらい 便利! 編集印刷2 Pro

ユーザー登録

サポート情報を表示

サポートセンターご利用の手引き

最新情報

Adobe Readerの入手

メニューボタンから項目を選んでクリックしてください。

株式会社ライフボート
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町2-2-34
TEL: 03-3265-1250 FAX: 03-3265-1251

ライフボートサポートセンター
TEL: 03-3265-1260

① 終了

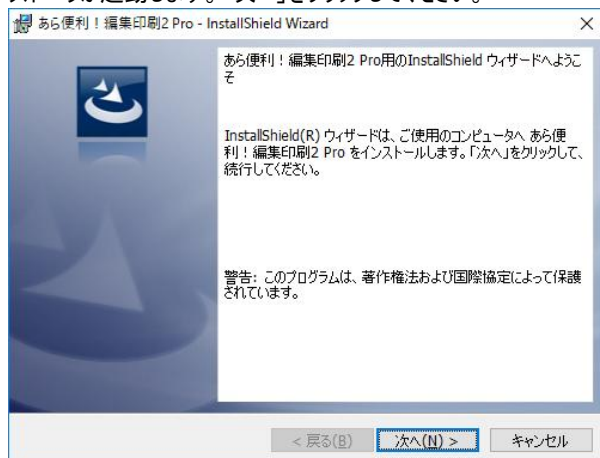
戻る

LIFEBOAT
a megasoft company

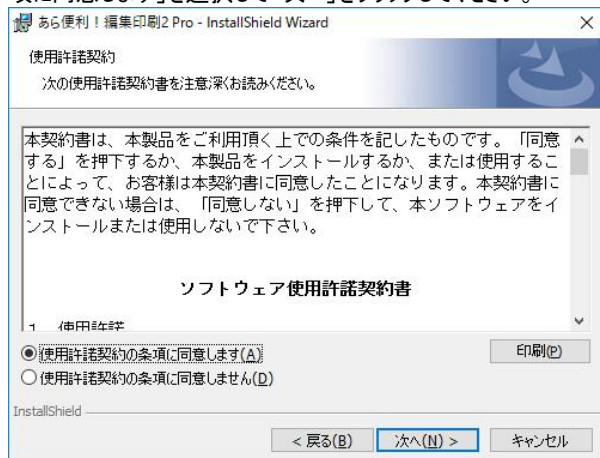
<メニューの説明>

ユーザー登録	Web 経由にてオンラインのユーザー登録をします。
サポート情報を表示	ライフボートのホームページを開いて、サポートセンターのご利用に関する情報を表示します。
サポートセンターご利用の手引	サポートセンターご利用の手引(PDF)を開きます。
最新情報	ライフボートのホームページを開いて、「編集印刷2 Pro」の最新情報を表示します。 最新のアップデートや FAQ はこちらをご覧ください。
Adobe Reader の入手	Adobe Reader が PC にインストールされていない場合にクリックします。
戻る	前のページへ戻ります。
終了	メニュー画面を終了します。

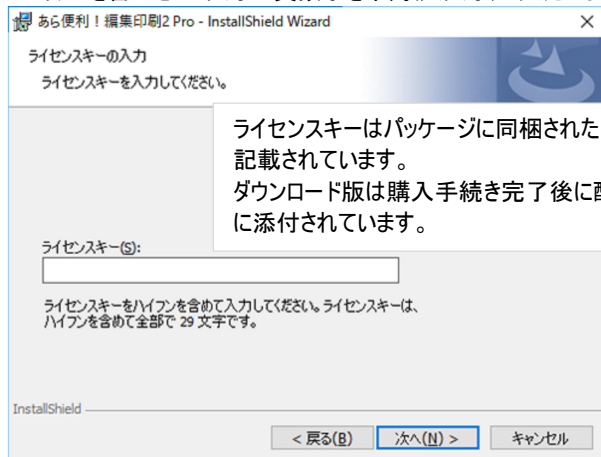
3. メニューの最初の画面から「インストール」をクリックすると、「編集印刷 2Pro」のインストーラが起動します。「次へ」をクリックしてください。



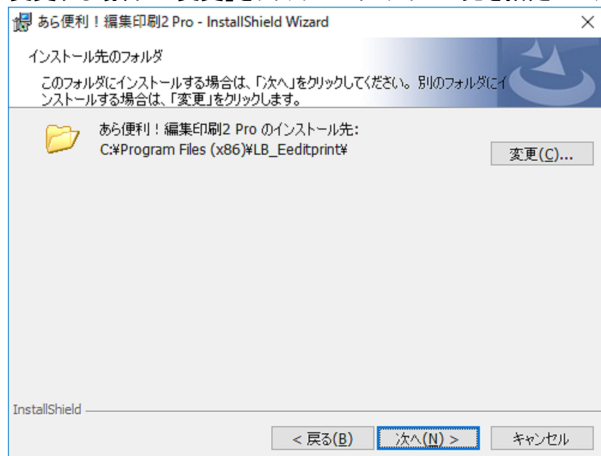
4. 「使用許諾契約」画面が表示されます。内容を確認の上、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択して「次へ」をクリックしてください。



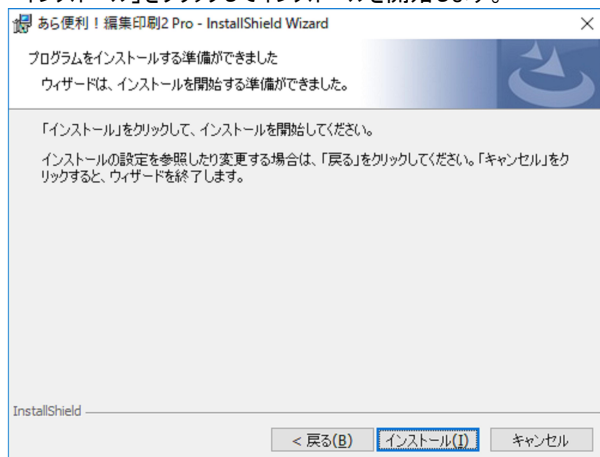
5. 「ライセンスキーの入力」画面が表示されますので、ライセンスキーを入力してください。
ハイフンを含めた 29 文字の英数字を半角(大文字)で入力します。



6. インストール先を選択する画面が表示されます。初期設定のままでよろしければ、「次へ」をクリックしてください。インストールが開始されます。
変更する場合は「変更」をクリックしてインストール先を指定してください。

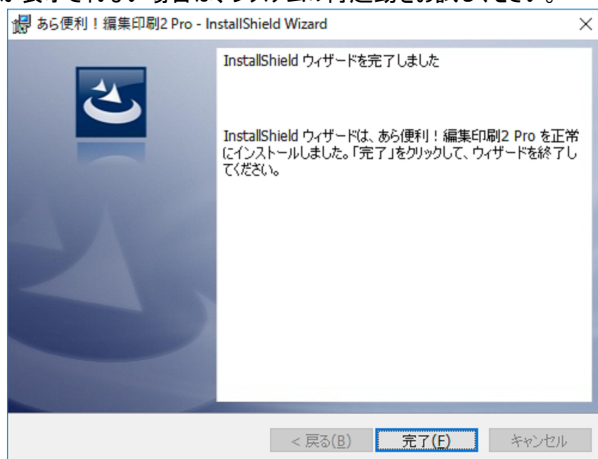


7. 「インストール」をクリックしてインストールを開始します。



8. 「完了」をクリックしてインストールを終了します。

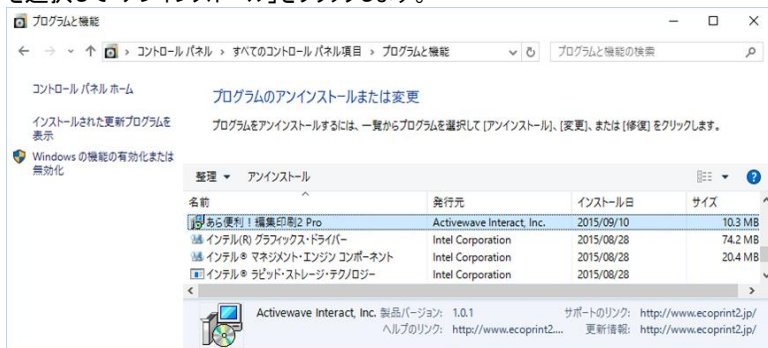
他のアプリケーションから印刷を実行しても「編集印刷2 Pro」の起動オプション画面が表示されない場合は、システムの再起動をお試しください。



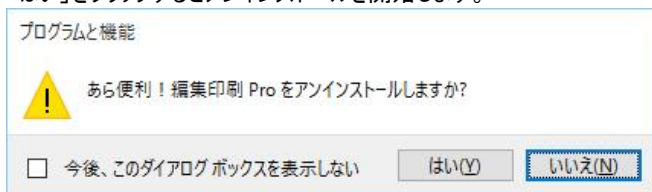
第2節 アンインストール

プログラムのアンインストールを開始する前に、予め管理者権限のあるユーザーで Windows にログオンしておく必要があります。

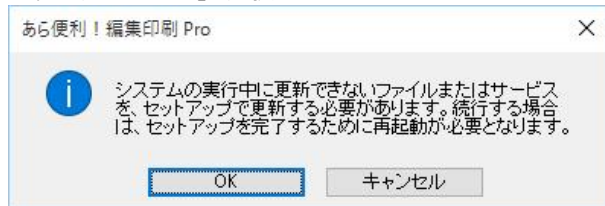
1. Windowsの「コントロールパネル」-「プログラムと機能」-「あら便利！編集印刷2 Pro」を選択して「アンインストール」をクリックします。



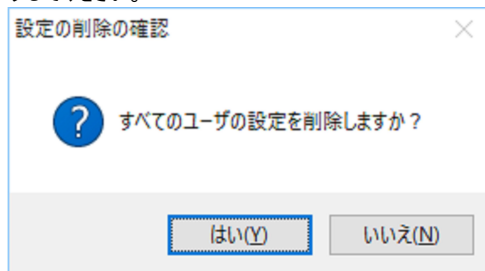
2. 「はい」をクリックするとアンインストールを開始します。



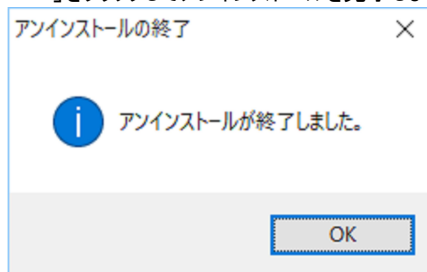
3. 次のメッセージが表示される場合、再起動が必要となります。すぐに再起動できない場合、「キャンセル」を選択してアンインストールを中断してください。



4. 他のユーザーの設定情報も含めてアンインストールしても問題なければ「はい」をクリックしてください。



5. 「OK」をクリックしてアンインストールを完了します。



第3章 使用方法

第1節 プレビュー画面の起動

「編集印刷2 Pro」は、常駐プログラムとなります。アプリケーション(ワープロソフトや画像加工ソフト等)とOSの印刷インターフェースの間で機能し、アプリケーションの印刷を捕捉し、加工します。

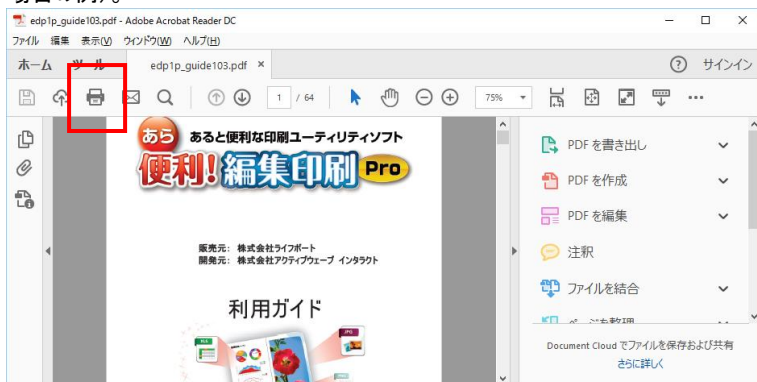
インストール後に「編集印刷2 Pro」の起動操作をする必要はありません。インストール前と同様の手順で印刷の操作を行ってください。

アプリケーションの「印刷」ボタンを押した後に、「編集印刷2 Pro」のプレビュー画面が表示され、プレビュー画面上から編集作業や詳細な印刷オプションを設定します。

「編集印刷2 Pro」で保存したファイルの読み込み等のために、必要に応じて「スタート」からプレビュー画面を起動することもできます(「第2節」参照)。

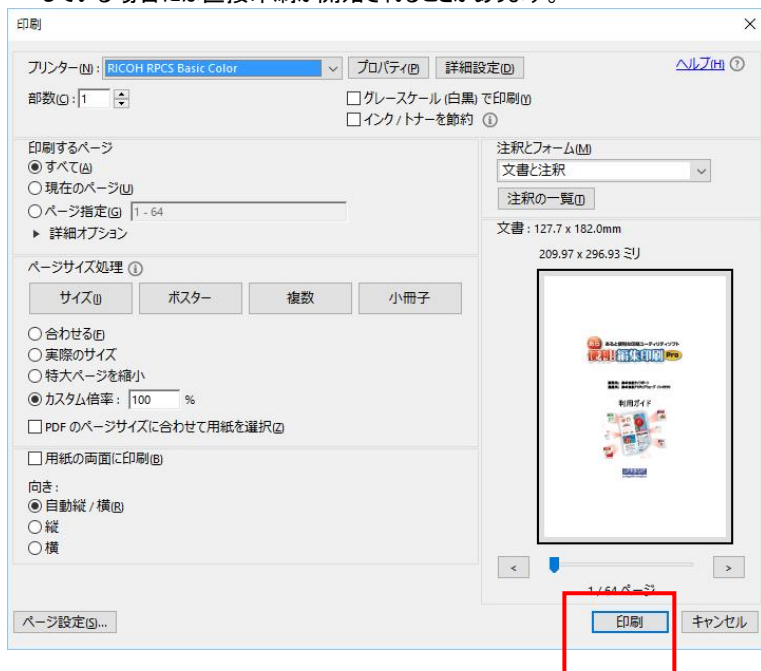
起動の手順

1. 印刷をしたいアプリケーションから印刷の操作を行います(PDFファイルを印刷する場合の例)。



2. 印刷設定の画面が表示されるので、「印刷」をクリックします。ここで「印刷」をクリックしても印刷はすぐに開始されず、「編集印刷 2 Pro」の動作オプションとプレビュー画面が表示されます。

※ 最初に「編集印刷 2 Pro」の起動オプションを変更したり、サービスを停止したりしている場合には直接印刷が開始されることがあります。



3. 動作オプションの設定画面が表示されます。初期設定の状態で「OK」をクリックすると、「編集印刷 2 Pro」のプレビュー画面が起動します。



<動作オプションの設定>

プリンタに直接印刷する	「編集印刷 2 Pro」を経由せずに直接プリンタに印刷します。
あら便利！編集印刷2 Proを経由して印刷する	「編集印刷2 Pro」を使用して印刷します。「OK」をクリックすると、プレビュー画面(操作画面)が表示されます。プレビュー画面上で編集操作をした後に印刷をします。
印刷時に毎回この画面を表示する	印刷操作を行う都度、この画面が表示されます。印刷の都度、「編集印刷 2 Pro」を使用するか確認したい場合にチェックを入れておきます。

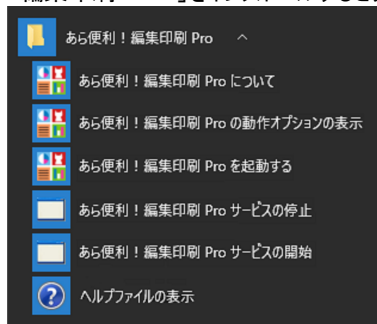
4. 「編集印刷 2 Pro」のプレビュー画面が表示されます。

プレビュー画面は、上部にタブで切り替え可能なツールバーが配置されます。「ホーム」タブ左上部の「印刷」をクリックすると印刷が開始されます。各タブとツールバーの機能については「第 3 節 ツールバーについて」、および「第 4 章」をご参照ください。



第2節 スタートメニュー

「編集印刷 2 Pro」をインストールすると次の項目が「スタート」に追加されます。



※「編集印刷 2 Pro」の主な設定や印刷の操作は、プレビュー画面から実行します。

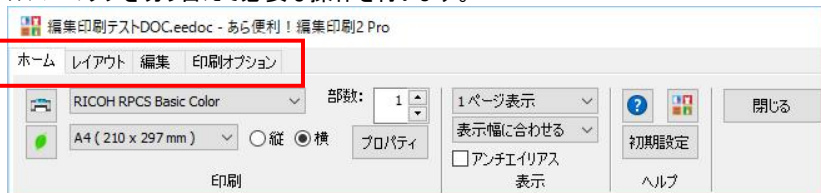
プレビュー画面は「印刷」操作時に自動起動するため、通常は「スタート」の項目を操作する必要はありません。

<スタートメニューの説明>

あら便利！編集印刷 Pro を起動する	印刷プレビュー画面を起動します。編集印刷データの新規作成時にはプレビュー画面が自動起動するため、主に保存済の編集データを開く際に使用します。
あら便利！編集印刷 Pro サービスの開始	何らかの理由でサービスが停止し「編集印刷2 Pro」が無効になっている場合は、「スタート」－「すべてのプログラム」－「あら便利！編集印刷 Pro」から「あら便利！編集印刷 Proサービスの開始」を選択します。
あら便利！編集印刷 Pro サービスの停止	「編集印刷2 Pro」はサービスプログラムです。通常、プログラムを終了する必要はありません。文書結合や節約など「編集印刷2 Pro」を実行したくない場合には、動作オプション画面から「プリンタに直接印刷する」を選択してください。「編集印刷2 Pro」を経由しないで、直接プリンタから印刷されます。
あら便利！編集印刷 Pro について	バージョン情報を表示します。
あら便利！編集印刷 Pro の動作オプション	動作オプションの設定画面を表示します。
ヘルプファイルの表示	オンラインヘルプを表示します。

第3節 ツールバーについて

「編集印刷 2 Pro」の主な設定や印刷の実行は、プレビュー画面上部に配置されたツールバーのタブを切り替えて必要な操作を行います。



各タブについて(各項目の詳細設定については「第 4 章」をご参照ください。)

<ホーム>

印刷	RICOH RPCS Basic Color 部数: 1 A4 (210 x 297 mm) ☐ 縦 ☒ 横 プロパティ	印刷の実行やプリンタの設定をするためのボタンが配置されています。
表示	1ページ表示 表示幅に合わせる ☐ アンチエイリアス	プレビュー画面上の表示ページ数、表示サイズ等を設定します。
ヘルプ	 初期設定	オンラインヘルプ、バージョン情報等を表示します。 「初期設定は」設定内容を初期インストール時に戻します。
閉じる	閉じる	プレビュー画面を終了します。編集内容は破棄されるので、必要な場合は終了する前に保存してください(「第 4 章 第 10 節」参照)。

<レイアウト>



割り付け	☒ 割り付け印刷 ☐ サムネイル印刷 2ページ 割り付け方向 横方向 印刷の実行やプリンタの設定をするためのボタンが配置されています。
挿入	境界線 ページ番号 ヘッダーとフッター 境界線 なし 設定 ページ間の境界線やページ番号、ヘッダー/フッターを挿入します。
ページ編集	ページの削除、白紙の挿入、選択したページの回転をします。

<編集>



元に戻す		描画オブジェクト、ページ編集の操作をアンドウ、リドゥします。
読み込みと保存		「編集印刷 2 Pro」で編集した印刷したイメージの保存、読み込み、スキャナやファイルからの取り込みを実行します。
テキスト		テキストボックスの挿入および、差し込みテキストの選択等、各種テキストの処理を実行します。
イメージ		スタンプ(画像)の読み込み、マーカー、マスクの追加を実行します。
図形		直線、四角形、円を挿入します。
フリーハンド		手書きツールと手書きに対する消しゴムツールです。
オブジェクト		画像、図形、テキスト等描画オブジェクトの編集を実行します。
位置揃え		選択したオブジェクトの位置を揃えます。

第4節 プレビュー画面のキーボードによる操作

印刷イメージの編集は、プレビュー画面上部に配置されたボタンアイコンから行いますが、キーボードを使用して多くの操作を実行可能です。

<画面のスクロール>

プレビュー画面は、縦にスクロールすることでページ送りができます。横 2 ページ以上の表示を選択している場合、先に横に表示していき、指定ページ表示したら縦に改行して表示します。スクロールは、スクロールバーの操作のほか、マウスのホイールの回転、右ボタンを押しながらのドラッグ、および、キーボード操作で行えます。

<キーボードの操作>

カーソルキー	上下左右に少しずつスクロールします
Home キー	先頭のページにスクロールします
End キー	最後のページにスクロールします
PageUp キー	上に大きくスクロールします
PageDown キー	下に大きくスクロールします
Delete キー	ページが選択されているとき、選択ページを削除します。
Alt+Enter	フォーカスのあるオブジェクトのプロパティを表示
Ctrl+A	すべてのページまたはすべてのオブジェクトを選択
Ctrl+C	選択しているオブジェクトをクリップボードへコピー
Ctrl+V	選択しているページへクリップボードから貼り付け(オブジェクト、テキスト、イメージ)
Ctrl+Z	描画オブジェクトの操作とページ編集の操作をアンドゥします。
Ctrl+Y	描画オブジェクトの操作とページ編集の操作をリドゥします。
Ctrl+マウスホイール	プレビューの表示倍率を変更できます。

<マウス操作(+キーボード)>

左クリック	ページ上でクリックした場合、そのページを選択状態にします。既に選択状態の場合、選択を解除します。何もないところ（ページの間）でクリックした場合、すべてのページの選択を解除します。複数ページを選択する場合は、同時に Ctrl キーを押します。
左ドラッグ	ページが選択されている場合、ページの移動モードになります。他のページの上に落とした場合には、そのページの位置に、用紙の間の何もないところに落とした場合には、その位置に挿入されます。ペー

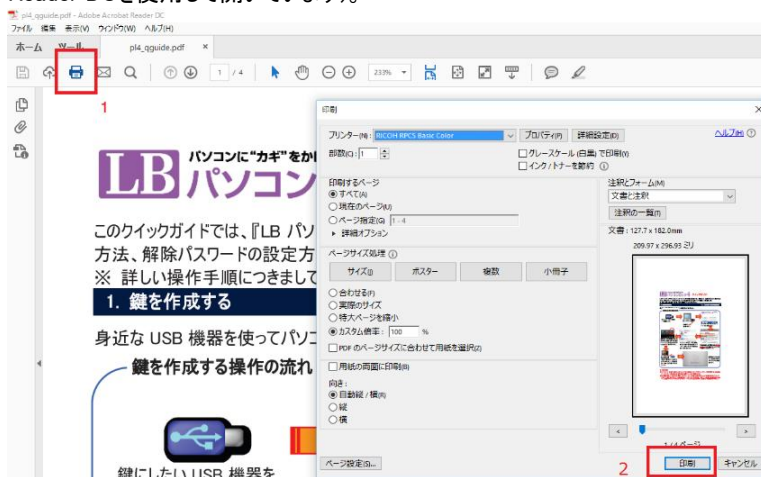
	ジの挿入される位置には、ページの上なら黒枠が、用紙の間なら黒線が表示されますので、目安にしてください。複数ページ選択していた場合は、すべてのページがその位置に移動します。
右クリック	選択されているページがある場合、そのページに対して行える操作（削除/白紙の挿入）が選べるポップアップメニューが表示されます。
右ドラッグ	ドラッグした方向へレビュー内容を動かします。

第5節 異なる形式のデータを結合（合成印刷）

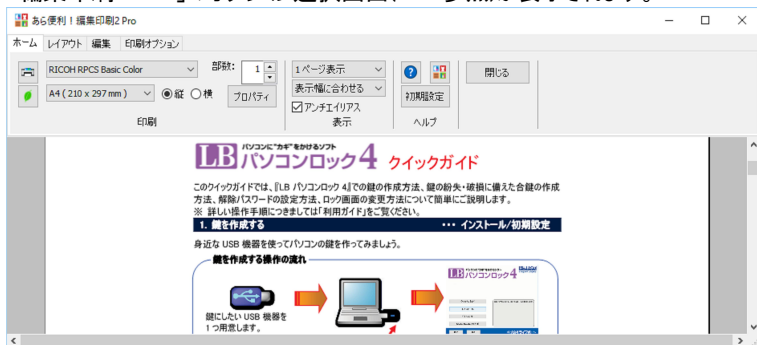
ワークプロ、表計算から画像まで、異なる形式のデータを 1 ページにまとめて印刷することができます。アプリケーション毎に、個々に印刷する手間を省くことができ、合成したデータの並べ替えや不要ページを削除することも可能です。プレビュー画面を開いた状態にして、異なるデータを連続して印刷していくと、末尾に結合されていきます。

以下の例では PDF、ワープロ文書、画像を結合してみます。

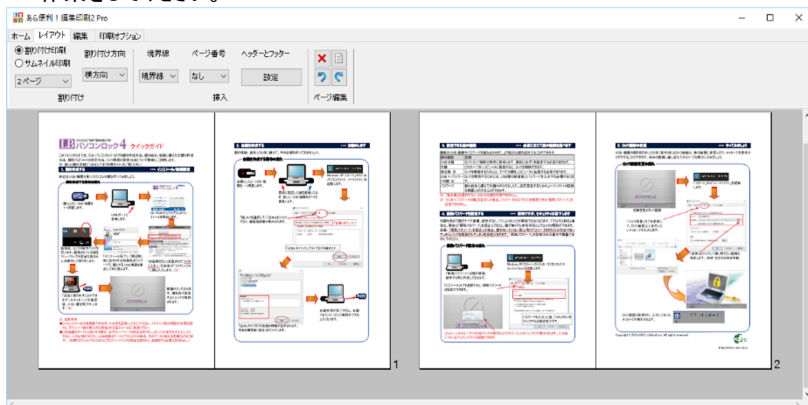
1. ドキュメントを開いているアプリケーションから「印刷」を指定して印刷画面を表示後、「印刷」をクリックします(下記の例では4ページのPDFドキュメントをAdobe Acrobat Reader DCを使用して開いています)。



2. 「編集印刷 2 Pro」のプレビュー画面が表示されます。
動作オプションの設定を初期状態のままにしている場合は、プレビュー画面の前に「編集印刷 2 Pro」のオプション選択画面(P17 参照)が表示されます。

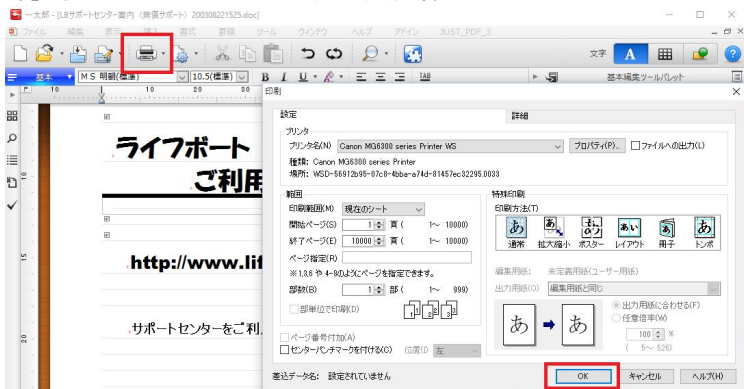


3. 割り付け印刷(1枚に2ページ)の設定をして、プレビュー画面の表示数を2ページとしました。
※ このプレビュー画面は閉じないで次の操作(合成したいドキュメントを他のアプリケーションから開く)を実行してください。プレビューを閉じた場合、編集内容が失われ、作業をはじめからやり直す必要があります。
印刷が完了するか、作業内容を保存するまでプレビュー画面を開いた状態で作業をしてください。

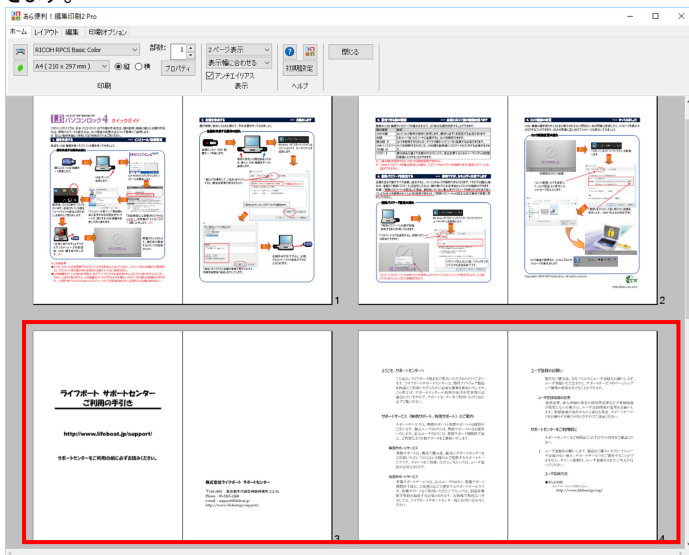


あら便利！編集印刷2 Pro 利用ガイド

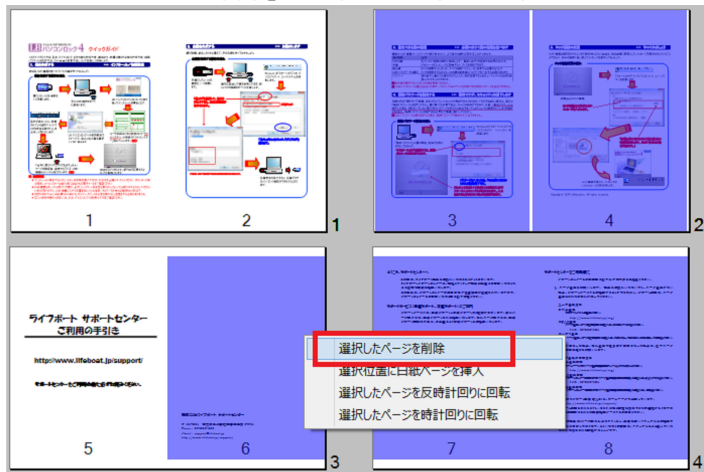
4. 前述の PDF ドキュメントに合成したいデータをアプリケーション(下図の例は「一太郎」を使用)から起動して 3. と同様に印刷の操作をします。



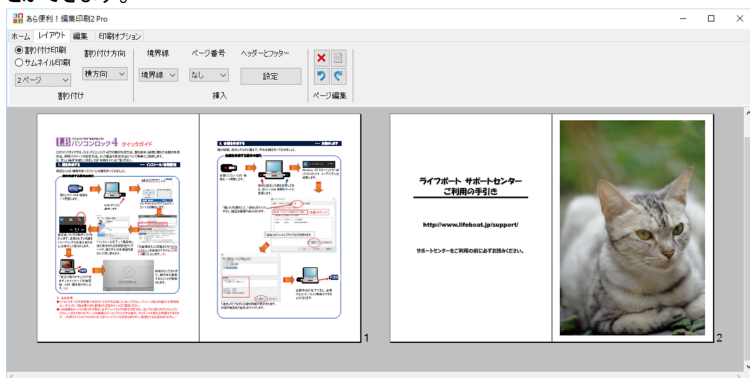
5. 「編集印刷2 Pro」のプレビュー画面に「一太郎」の文書が追加されたことが確認できます。



6. 不要なページがある場合は、対象ページを選択状態にしてから右クリックして削除できます(ツールバーの「編集」から削除ボタンを押して削除することもできます)。



7. 4. の操作と同様に、今度はWindowsフォトビューアーから写真の印刷操作をして、写真を1点追加しました。このように、プレビュー画面を開いたまま、追加するデータを対応アプリケーションから印刷操作することで、様々な種類のデータを合成することができます。



第6節 編集イメージの印刷

割り付け等の編集作業を終えたイメージ(プレビュー画面に読み込んだイメージ)を実際に印刷する操作は次のようになります。

「ホーム」タブを表示して  クリックすると、アイコン右に表示されているプリンタから印刷を開始します。



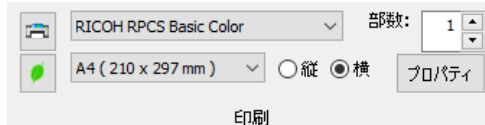
 をクリックすると、インク/トナーを節約して、アイコン右に表示されているプリンタから印刷を開始します。

※ プリンタの選択や印刷設定の詳細は「第 4 章 第 1 節」をご参照ください。

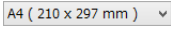
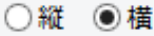
第4章 機能について

第1節 印刷の設定

印刷の設定や実行は「ホーム」タブの「印刷」上のボタンから実行します。



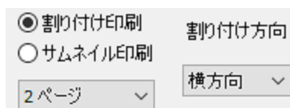
<ボタンの説明>

印刷 	プレビュー内容に応じて、通常印刷を行います。ボタンを押すとすぐ印刷が始まります。
節約して印刷 	プレビュー内容に応じて、トナー/インクを節約して印刷します。ボタンを押すとすぐ印刷が始まります。トナー/インク節約には「インクジェットプリンタ用」と「レーザプリンタ用」の2つのエンジンがありますが、後述の「節約バー」で設定が可能です。
プリンタ選択リスト 	印刷先のプリンタを選択します。プレビュー起動時に、アプリケーション側で選択していたプリンタが自動的に選択されますが、後から変更することも可能です。
用紙選択リスト 	印刷する用紙サイズを選択します。「編集印刷2 Pro」では、すべてのページを同一の用紙サイズに統一して印刷します。複数のページサイズが含まれるドキュメントを印刷した場合や、異なるページサイズのドキュメント同士を結合した場合、ここで設定した用紙サイズに拡大または縮小されます。プレビュー起動時には、アプリ側から送られてきた最初の1ページ目の用紙サイズが自動的に選択されますが、後から変更することも可能です。
用紙の向き選択 	用紙の向きを設定します。「編集印刷2 Pro」では、すべてのページを同一の向きに統一して印刷します。縦横混在しているドキュメントを印刷した場合や、縦横の異なるドキュメント同士を結合した場合、ここで設定した向きに統一されます。この設定と異なる向きのページは、自動的に回転されて、印刷面積が最大になるように調整されます。プレビュー起動時には、アプリ側から送られてきた最初の1ページ目の用紙の向きが自動的に選択

	されますが、後から変更することも可能です。
部数指定	印刷部数を指定します。直接数値入力のほか、上下ボタンで増減させることも可能です。
プロパティ	プリンタのプロパティを表示します。印刷バーから直接指定できない、カラーモードや両面印刷、その他プリンタ固有設定はここから設定できます。

第2節 割り付けとサムネイル印刷

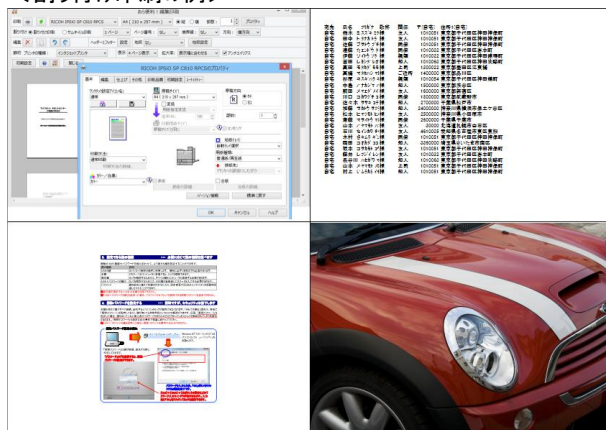
割り付けとサムネイル印刷は「レイアウト」タブの「割り付け」から設定します。印刷するデータの種類や、1枚あたりの割り付けページ数によって「割り付け印刷」と「サムネイル印刷」のどちらかを選択します。



【割り付け印刷】

1枚の用紙に4ページまでのデータを割り付けることができます。主に、文書が中心のデータを印刷する場合に選択します。写真等を混在させることもできるので、ある程度の大きさが必要な場合はこちらを選択することをお勧めします。

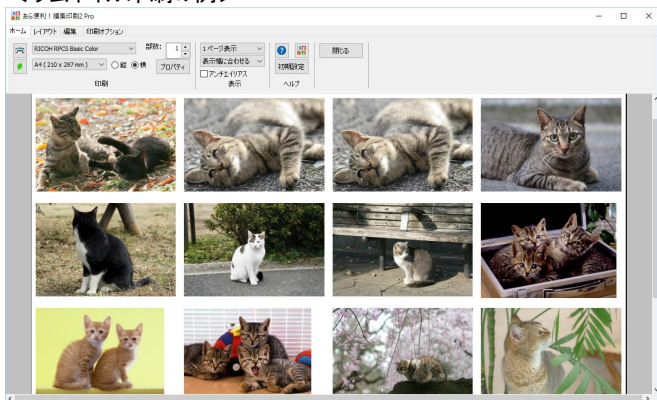
<割り付け印刷の例>



【サムネイル印刷】

機能的には割り付け印刷と同様ですが、1枚の用紙に32ページ分までの画像や文書をレイアウトすることができます。写真のコンタクトプリント(べた焼き)のような印刷をする場合に適しています。

<サムネイル印刷の例>



<「割り付け」の設定内容>

☒ 割り付け印刷 ☐ サムネイル印刷	割り付け印刷または、サムネイル印刷モードに設定します。
1 ページ ページ数	「割り付け」と「サムネイル」で指定できるページ数が異なります。 1、2、4 --- 割り付け 8、16、32 --- サムネイル
方向 (割り付け方向)	4 ページ割り付け印刷または、8/16/32 ページのサムネイル印刷時、先にどちら方向へページを並べていくかを選択します。 横方向または縦方向から選択します。

第3節 ヘッダーやページ番号の挿入

印刷するページにヘッダー/フッター、境界線、ページ番号を挿入することができます。

境界線	ページ番号	ヘッダーとフッター
境界線 ▾	なし ▾	設定

「レイアウト」タブ「挿入」から「設定」をクリックすると、次の画面が表示されます。

ページ設定

ヘッダー: 挿入 左寄せ ▾

フッター: 挿入 左寄せ ▾

フォントの変更 OK キャンセル

ヘッダーとフッターはそれぞれについて、自由書式で入力することができます。また「挿入」ボタンを押して「ページ番号」、「総ページ数」、「日付」、「時間」の4種類から選択できます(選択した内容に対応する特殊文字列が挿入されます)。

「ページ番号」は印刷ページに応じて置き換わります(割り付け/サムネイル使用時は用紙単位)。また、位置を「左寄せ」、「中央寄せ」、「右寄せ」に指定することができます。

下の例はヘッダー:「日付、時刻」、フッター:「ページ番号、総ページ数」を「挿入」ボタンから選択、フッターの「/」はキーボードから入力しています。

2015/06/03 13:59:47

ページ設定

ヘッダー: {Date} {Time} 挿入 左寄せ ▾

フッター: {PageNumber} / {TotalPages} 挿入 左寄せ ▾

フォントの変更 OK キャンセル

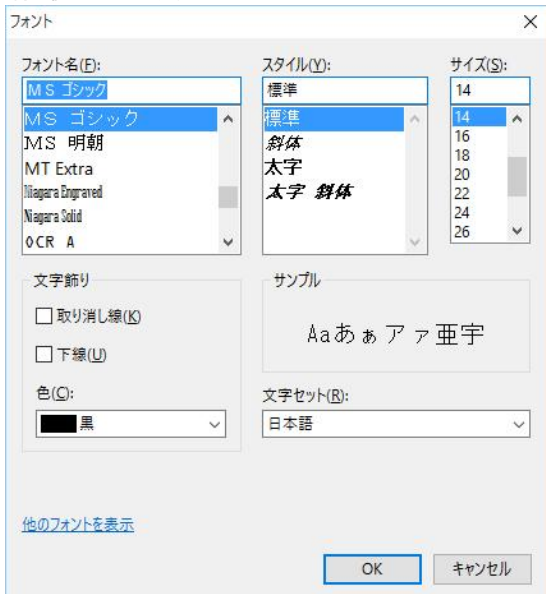
1 / 3



<「挿入」の設定内容>

境界線	ページ区切り位置を示す線を選択します。なし/境界線/囲みから選択できます。
ページ番号	割り付け/サムネイル化後のページ番号を挿入する位置を指定します。なし/左上/中央上/右上/中央左/中央右/左下/中央下/右下から選択できます。
ヘッダーとフッター	ヘッダー、フッターを挿入します。

フォントについては、ヘッダーとフッター共通の設定です。「フォントの変更」ボタンを押すと、次のような画面が表示されますので設定します。フォント名とスタイル、サイズ、文字飾り、色が選択可能です。フォントサイズは、ポイント単位として解釈され、プレビューおよび印刷に使用されます。



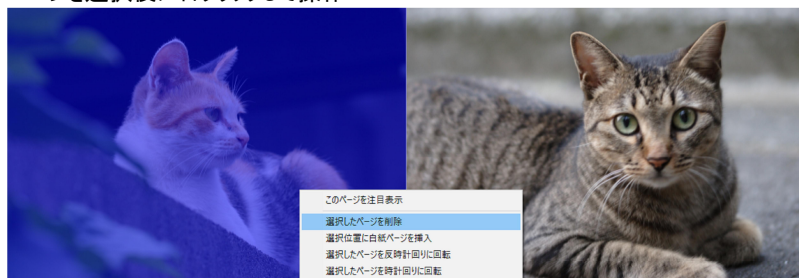
第4節 ページ編集

「レイアウト」タブ-「ページ編集」から、ページの削除と白紙の挿入が行えます。また、指定のページを左右 90 度単位で回転させることができます。

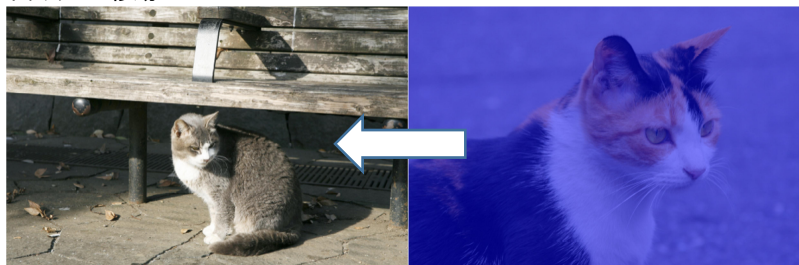


編集バーの操作はマウスだけで実行することもできます。ページを選択して右クリックすると、編集バーと同じ操作を選択することができます。また、ページを移動する場合、移動したいページを選択して移動先へドラッグします。他のページの上に落とした場合には、そのページの位置に、用紙の間の何もないところに落とした場合には、直後の用紙の位置に挿入されます。ページの挿入される位置には、ページの上なら黒枠が、用紙の間なら黒線が表示されますので、目安にしてください。複数ページ選択していた場合は、すべてのページがその位置に移動します。

ページを選択後に右クリックして操作



ドラッグして移動



＜編集バーの説明＞

削除 	選択しているページを削除します。複数選択されている場合、選択しているページすべてが削除されます。ページを選択するには、プレビュー上で該当ページを左クリックしてください。複数のページを選択する場合は左クリックと同時に Ctrl キーを押します。選択を解除するには、解除したいページをもう一度クリックしてください。すべての選択を解除するには、何もないところを左クリックしてください。この操作は、ツールバーから行う代わりに、ページを選択後にプレビュー領域で右クリックして出るメニューから行えます。削除したページは、表示されないだけでなく、印刷も行われません。
白紙の挿入 	選択しているページの位置に、白紙ページを挿入します。複数ページ選択している場合には、一番若い番号のページの位置にのみ挿入されます。この操作は、ツールバーから行う代わりに、ページを選択後にプレビュー領域で右クリックして表示されるメニューから行えます。
90 度左回転 	指定のページを反時計まわりに 90 度単位で回転させることができます。この操作は、ツールバーから行う代わりに、ページを選択後にプレビュー領域で右クリックして表示されるメニューから行えます。
90 度右回転 	指定のページを時計まわりに 90 度単位で回転させることができます。この操作は、ツールバーから行う代わりに、ページを選択後にプレビュー領域で右クリックして表示されるメニューから行えます。

第5節 地紋の挿入

印刷したデータをコピー機でコピーすると、「COPY」、「社外秘」等の文字が浮かび上がる「地紋」を挿入することができます。

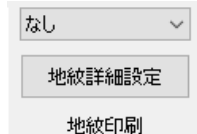
＜地紋挿入前＞



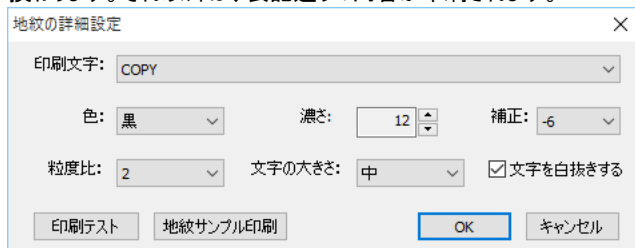
＜地紋挿入例＞（コピー機でコピーしたもの）



地紋の挿入は「印刷オプション」タブ「地紋印刷」から「地紋詳細設定」を選択します。



地紋を挿入する場合、「COPY」、「社外秘」、「関係者限」、「CONFIDENTIAL」、「持ち出し禁止」、「～ 日時 ～」、「コピー」、「転載禁止」、「極秘」、「SAMPLE」の10通りから選択できます。「～ 日時 ～」を選択した場合、「日時」の部分は印刷日時に置き換わります。それ以外は、表記通りの内容が印刷されます。



＜地紋の詳細設定の説明＞

印字文字	印刷する文字を選択します。地紋バーにある設定と同一です。
色	地紋の色を「黒」、「赤」、「青」から選択します。プリンタによっては特定の色で印刷ムラが出るがありますが、その場合、他の色を選択します。
濃さ	地紋の濃さを設定します。最適な設定はプリンタごとに異なりますので、「地紋サンプル印刷」でお使いのプリンタでの最適値を探していただくようお願いします。
補正	地紋を挿入して印刷した場合、コピー後に消える部分と、残る部分の濃さの差を設定するものです。初期設定では一般的なインクジェットプリンタに合わせたもの（-6）となっています。「地紋サンプル印刷」を行い、お使いのプリンタでの最適な数値を探して設定しなおすようお願いいたします。
粒度比	地紋を挿入して印刷した場合、コピー後に残る部分の残りやすさを設定するものです。通常、デフォルトの2のままで問題ありません。「地紋サンプル印刷」で各種設定を確認してもよい設定が見つからない場合には、3や4で「地紋サンプル印刷」を行い、改善するようであればその数値を採用してください。
文字の大きさ	地紋の文字の大きさを「小」、「中」、「大」、「特大」、「自動調整」から選択します。「自動調整」を選択した場合、用紙いっぱいになるように拡大して印刷します。
文字を白抜きにする	チェックされていると、コピー後、文字の内側がコピーされずに白くなるように印刷されます。チェックを外すと、文字以外の部分が白くなるように印刷されます。ほとんどの場合、チェックありの方が良好な結果となりますので、チェックありでご使用なさることをお勧めします。
印刷テスト	現在の設定内容で、地紋のみを印刷します。設定したパラメータの妥当性を確認するときにご利用ください。
地紋サンプル印刷	設定可能なすべての濃さと補正値の組み合わせのサンプルが6枚印刷されます。欄外のサンプルをご参照ください。

【「地紋サンプル印刷」について】

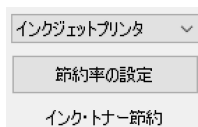
「地紋サンプル印刷」ボタンをクリックすると、次のようなシートが6ページ印刷されます。印刷後にこれらをコピー機でコピーしてください。その後、原本とコピーを見比べてください。原本とコピーでの違いが大きいマスを探します。ほとんどの場合、濃さ12周辺にあるかと思います。複数のマスが該当すると思いますので、その中から、原本で最も文字が目立たないマスを候補とします。そのマスの濃さと補正値を確認し、「編集印刷2 Pro」の地紋の設定画面でその値を選択します。その後、「印刷テスト」ボタンで地紋を全面に印刷してみて、コピー結果と合わせて妥当かどうかご評価ください。



地紋のサンプル印刷では、濃さと補正のみ候補を印刷します。地紋の色と粒度比については、事前に設定画面の方で設定して下さるようお願いいたします。思ったような印刷結果が得られない場合には、色や粒度比を変えてみてください。また、インクジェットプリンタの場合、プリンタのプロパティにある「印刷品質」を変更することで、良好な結果が得られることがあります。多くの場合「きれい」「標準」「はやい」などの選択肢になっていると思いますので、「きれい」に変更して印刷してみてください。なお、ここで印刷品質を変更して良好な結果を得た場合、実際に「編集印刷2 Pro」から地紋を入れて印刷する際、印刷バーの「プロパティ」ボタンから、プリンタのプロパティを開き、印刷品質を設定する必要がありますので、ご注意ください。

第6節 インク/トナーの節約

インク/トナーの節約は「印刷オプション」タブ-「インク・トナー節約」からプリンタの選択と印刷率の設定を行います。



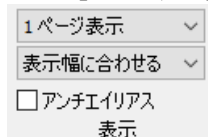
「節約率の設定」をクリックすると設定用のバーが表示されます。



印刷時に  (節約して印刷)を選択する場合は正しい設定をしておく必要があります。ご利用のプリンタがインクジェットプリンタの場合、「インクジェットプリンタ」を、レーザープリンタの場合「レーザープリンタ」を選択してください。節約して印刷時、それぞれに応じた最適なアルゴリズムで節約処理が行われます。実際に使用したプリンタと異なる場合、印刷品質が低下したり、節約効果が低下したりすることがあります。

第7節 プレビュー画面の表示変更

「ホーム」タブの「表示」から、プレビューの表示方法を設定します。



※ プレビュー画面で表示を変更した内容は、印刷結果には反映されません。

<表示バーの説明>

表示 1ページ表示 ▼	横に何ページ並べて表示するか選択します。1 / 2 / 4 / 6 / 8 ページ表示から選択できます。全体の概要を把握したり、ページ順の調整や削除などを行ったりするときには、横ページ数を増やして表示すると、わかりやすいかと思えます。この設定はプレビュー表示のみに影響し、印刷結果には影響しません。
----------------------------------	--

拡大率 表示幅に合わせる ▼	プレビューの表示倍率です。表示幅に合わせる/ ページ全体を表示 / 25%～400%から選択できます。この設定はプレビュー表示のみに影響し、印刷結果には影響しません。
アンチエイリアス	ページ内のグラフィクス要素およびテキストをアンチエイリアス表示します。Adobe Reader などの文字をグラフィクス要素として出力するアプリケーションで、文字の判読を行いやすいようにします。ただし、アンチエイリアスを有効にすると、変換処理が入るため読み込みに時間がかかります。また、画面表示処理自体も重くなりますので、操作のレスポンスが悪くなることがあります。必要のない場合、有効にしないことをお勧めします。この設定はプレビュー表示のみに影響し、印刷結果には影響しません。 ※ アンチエイリアスについては欄外のサンプルもご参照ください。

アンチエイリアスを有効にしない場合の表示例

ようこそ、サポートセンターへ

この度は、ライフポート製品をご購入いただきありがとうございます。
 ます。ライフポートサポートセンターは、弊社ソフトウェア製品
 を快適にご利用いただくために必要な情報を提供いたします。
 この冊子は、サポートセンターの利用方法や注意事項が記
 載されていますので、サポートセンターをご利用いただく前に
 必ずご覧ください。

アンチエイリアスを有効にした場合の表示例

ようこそ、サポートセンターへ

この度は、ライフポート製品をご購入いただきありがとうございます。
 ます。ライフポートサポートセンターは、弊社ソフトウェア製品
 を快適にご利用いただくために必要な情報を提供いたします。
 この冊子は、サポートセンターの利用方法や注意事項が記
 載されていますので、サポートセンターをご利用いただく前に
 必ずご覧ください。

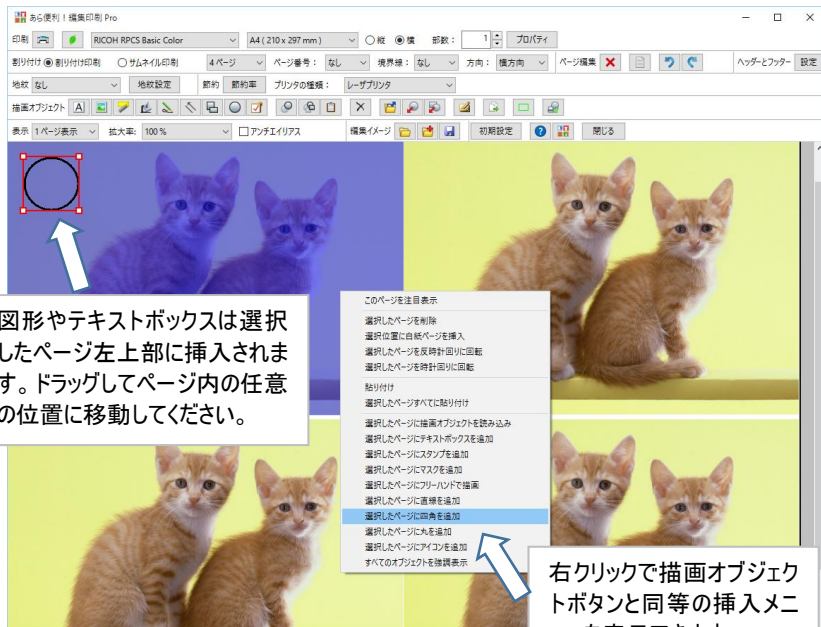
- ※ 写真のプレビューを拡大表示した場合、黒色の部分に白抜けが発生することがありますが、そのような場合、アンチエイリアスを有効にすると改善できます。

第8節 描画オブジェクトの挿入

「編集印刷2 Pro」には、割り付け後のデータに、画像やテキストボックス等の様々な描画オブジェクトを挿入する編集機能が用意されています。オブジェクトの挿入は「編集」タブの「テキスト」、「イメージ」、「図形」、「フリーハンド」から実行します。



描画オブジェクトを挿入する際は、はじめにオブジェクトを挿入したいページを選択する必要があります(挿入したいページにカーソルを合わせて左クリックすると、選択されたページが濃紺色になります)。ページ選択後に挿入する描画オブジェクトボタンをクリックするか、右クリックでメニューを表示してオブジェクトを挿入します。



- ※ 1つの描画オブジェクトを複数のページにまたがって配置することはできません。
- ※ 複数のページを選択した状態でオブジェクトを挿入すると、選択したページすべてに同じオブジェクトが追加されます。

<描画オブジェクトのツールボタン>

描画オブジェクトを挿入した後の操作(色やフォントの変更等)については「第5章」にて解説していますので併せてご参照ください。

テキスト	
テキストボックス 	選択したページにテキストボックスを追加します。
テキストボックスを自動追加 	選択したページにテキストボックスを自動で追加します。「ページ全体を認識」と「クリックした位置を認識」、「クリックした位置を認識(連続モード)」の3種類のアクションを選択できます。
ユーザ辞書から貼り付け 	ユーザ辞書が表示されますので、テキストを選択して「選択」を選ぶと、その文字列のテキストボックスが生成されます。
ユーザ辞書の管理と選択 	あらかじめテキストを登録しておいて、それを選択するだけで、その内容のテキストボックスを一発作成できます。ダイアログが表示されるので、辞書の追加や削除、編集が行えます。
差し込みデータの選択 	差し込み印刷を行うためのデータが記述されたCSVファイルを取り込みます。差し込み印刷についての詳細は「第11節」の「差し込み印刷」をご参照ください。
イメージ	
スタンプ 	選択したページにスタンプ(画像ファイル)を追加します。対応画像形式は、BMP/PNG/JPEG/GIFの4種類になります(※)。「選択したオブジェクトを名前を付けて保存」で保存されたファイルの場合、元の位置/座標に追加されます。 ※ 対応形式の画像ファイルをあらかじめご用意ください。

アイコンを追加 	選択したページにアイコンオブジェクトを追加します。
マーカー 	現在選択されているオブジェクト(赤枠表示)と同じページにあるすべてのオブジェクトをクリップボードにコピーします。
マスク 	選択したページに、既存ドキュメントの一部を隠すマスクオブジェクトを追加します。マスクオブジェクトは、黒く塗りつぶした状態で追加されます。4隅の四角をマウスの左ボタンでドラッグすることで、領域の位置や大きさを変更することができます。個人情報など不要な部分を隠すのにご利用ください。白など他の色で塗りつぶしたい場合は、マーカーや四角オブジェクトをご利用ください。
図形	
直線を追加 	選択したページに直線オブジェクトを追加します。
四角形を追加 	選択したページに四角オブジェクトを追加します。
円形を追加 	選択したページに丸オブジェクトを追加します。
フリーハンド	
フリーハンドで線を描画 	フリーハンドで線を描画します。選択すると、描画モードになり、マウスカーソルの軌跡に沿って線が描かれます。右クリックをすると線が確定されます(右クリックするまでに引いたすべての線が、まとめて一つのオブジェクトになります)。 線の描画中には、選択した描画ページの外にマウスカーソルを出すことはできません。また、画面のスクロールなども行えません。
消しゴム 	フリーハンドで描画中にクリックして消しゴムモードに切り替ええます。  と  を交互にクリックしてモードを切り替えながら作業することができます。

第9節 オブジェクトの編集

保存やコピー、読み込み等、既存オブジェクトの操作方法についてのアイコンが配置されています。



＜オブジェクトのボタン＞

選択したオブジェクトの切り取り 	現在選択されているオブジェクト(赤枠表示)のみを切り取ります。
選択したオブジェクトのコピー 	現在選択されているオブジェクト(赤枠表示)のみをクリップボードにコピーします。
選択したページすべてに貼り付け 	選択したページにクリップボードのデータを貼り付けます。対応形式は3種類です。 ○「編集印刷2 Pro」の描画オブジェクト ○テキストデータ テキストデータを貼り付けると、自動的にテキストボックスが生成され、その中にテキストデータとして設定されます。 ○ビットマップデータ JPEG 等も、クリップボードにコピーした場合には、ビットマップ形式でコピーされます。
選択したページに描画オブジェクトを読み込み 	後述の「オブジェクトを名前を付けて保存」で保存したデータを読み込みます。対応形式は、*.eeobj のみです。複数のオブジェクトが1つのファイルに含まれている場合、すべてのオブジェクトが読み込まれます。選択しているすべてのページに、保存時の座標/大きさで、読み込んだオブジェクトが追加されます。その座標に既にオブジェクトがあった場合、右下または左上に少しずらして追加されます。スタンプオブジェクトを単体で保存した場合、「選択したページにスタンプを追加」から読み込んでください。

名前を付けて保存 	現在選択されているオブジェクト(赤枠表示)に名前を付けて保存します。座標や大きさのほか、線の太さやフォント、テキストの内容など、各オブジェクトの属性すべてが保存されます。スタンプオブジェクトの場合には、元画像のファイルの拡張子のままで、それ以外のオブジェクトは *.eeobj の拡張子で保存されます。保存したデータは、隣の「選択したページに描画オブジェクトを読み込み」のボタンで読込可能です。
オブジェクトの削除 	現在選択されているオブジェクト(赤枠表示)を削除します。このボタンを選択する代わりに、Delete キーを押しても削除できます。
選択したオブジェクトのプロパティを表示 	現在選択されているオブジェクト(赤枠表示)のプロパティを表示します。プロパティから、線の太さや色、文字の大きさやフォントなど、各オブジェクトの属性を変更することができます。
オブジェクトのみを印刷 	アプリから読み込んだ元文書の部分は印刷せず、追加した描画オブジェクトのみを印刷します。記入用紙をスキャンして「編集印刷2 Pro」に取り込み、それに合わせて文字を入力、元の記入用紙に追加印刷する等の用途が考えられます。
全てのオブジェクトを強調表示 	選択していないオブジェクトに緑枠を表示します。選択中のオブジェクトには赤枠が付きます。オブジェクトがどこにあるかわからなくなった場合など、このボタンをご利用ください。ボタンを押すたびに、強調表示あり/なしが切り替わります。

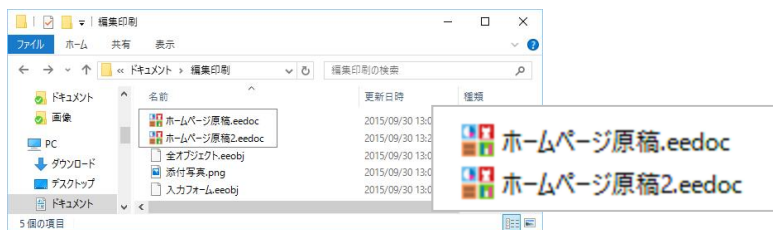
第10節 読み込みと保存

編集した印刷イメージは、専用形式のファイルで保存できるため、作業途中状態の保存やひな型の作成にも利用できます。ファイル形式は *.eedoc となります。

また本バージョンでは、編集した印刷イメージを各種画像ファイルとして保存したり、画像データを印刷ページとして取り込んだりすることができます。



データの保存と読み込みは「編集」タブ-「読み込みと保存」から実行します。



<読み込みと保存のボタン>

編集イメージを開く



保存してある編集イメージ (*.eedoc)を開きます。このボタンから開いた場合、現在プレビューに表示されているデータは破棄します。描画オブジェクトが保存されていた場合、それも同時に読み込まれます。また、差し込み印刷の設定がされていた場合、対応するCSVファイルも読み込まれます。

編集イメージを追加する



保存してある編集イメージ(*.eedoc)を追加モードで開きます。このボタンから開いた場合、現在表示しているドキュメントの末尾に、読み込んだデータを追加していきます。描画オブジェクトが含まれる場合、それも同時に読み込まれます。差し込み印刷の設定がされている場合、現在のドキュメントにCSVファイルが読み込まれていなければ、保存されているドキュメントからCSVファイルを読み込みます。既にCSVファイルが読み込まれていれば、保存されているドキュメントのCSVファイルは読み込みません。これにより、対応項目が見つからなくなったテキストボックスがある場合、警告を表示するとともに、CSVの1列目の項目に自動的に置き換えられます。警告が表示された場合、各差し込み設定テキストボックスの設定を確認し、必要に応じて変更してください。

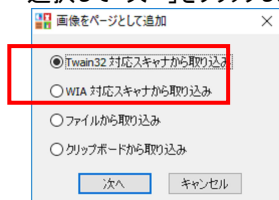
編集イメージを保存する 	現在表示しているドキュメントの各ページの文書データ、および、描画オブジェクトを1つのファイルにまとめて保存します。差し込み設定が行われている場合には、対応するCSVファイルも同時に保存されます。また、保存の際、ドキュメントで使用しているフォントを埋め込みフォントとして同時に保存します。これにより、該当フォントがインストールされていない別のPCでも、ドキュメントを正しく表示/印刷することが可能です。ただし、テキストボックスで設定しているフォント、および、ヘッダーとフッターで設定しているフォントについては、使用する文字種が確定できないため、埋め込みフォント化できません。そのため、これらのフォントはドキュメントに保存されません。これらにつきましては、インストールされているフォントを直接使用します。該当するフォントがない場合、Windowsが自動的に判断して、別のフォントで印刷/表示します。必要な場合には、適切なフォントに再設定してください。
スキャナまたは画像ファイルからページを挿入 	スキャナで取り込んだ画像や画像ファイルを印刷ページとして、編集イメージに取り込むことができます。 取り込み操作については、次頁の操作例をご参照ください。
ページを画像ファイルとして保存 	編集イメージを画像ファイルとして保存します。 フォーマットは以下の4通りのファイル形式から選択できます。 png、jpg、gif、bmp ページ数が多いサムネイル印刷イメージ等の場合、ファイルサイズが大きくなることがあります。

- ※ 保存される編集イメージ(*.eedoc)は「編集印刷2 Pro」専用のファイルです。他のソフトから編集イメージを開いたり、編集したりすることはできません。
- ※ 編集イメージに含まれる画像ファイルは圧縮されません。JPG等を貼り付けた編集イメージを保存すると、保存ファイルは元の画像よりかなり大きいサイズとなることがあります。デジカメで撮影した写真等をサムネイルで保存する場合は、PDFプリンタドライバを別途ご用意いただき、PDF形式等で保存するか、「ページを画像ファイルとして保存」を選択してgifファイル等に保存することをお勧めいたします。

<スキャナからの取り込み操作の例>

差し込み印刷の手順

1. 「スキャナまたは画像ファイルからページを挿入」ボタンをクリックして取り込み対象を選択して「次へ」をクリックします。



PCに接続されたスキャナを選択します。わからない場合は機器のマニュアル等をご参照ください。

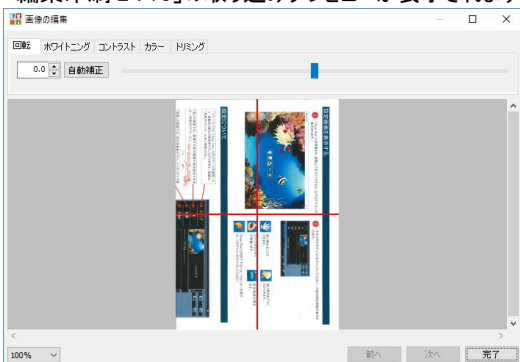
2. PC から利用可能なスキャナを選択します。
(スキャナ用ドライバーが正しくインストールされている必要があります。)



3. 読み取り方法を設定して「読み込み」をクリックします。
(この画面は機器やドライバーによりや設定や表示が異なります)



4. 「編集印刷 2 Pro」の取り込みプレビューが表示されます。



取り込み時のオプション

回転	任意の割合で回転をかけます(自動補正あり)。
ホワイトニング	任意の割合でホワイトニング処理をします(白に近い部分を完全な白に置き換え)。
コントラスト	コントラストの調整をします(自動補正あり)。
カラー	フルカラー、グレースケール、モノクロ 2 階調(ディザなし)、モノクロ 2 階調(ディザあり)から選択します。
トリミング	任意の部分をトリミングして取り込みます。

5. スキャンされたイメージが印刷ページとしてプレビュー画面に表示されます。



第11節 差し込み印刷

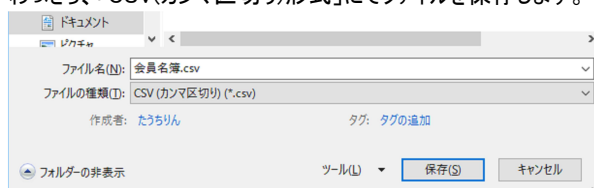
テキストボックスの挿入機能を利用して CSV 形式の表データを読み込むことで、差し込み印刷をすることができます。

差し込み印刷の手順

1. 差し込み用の CSV データを用意します。表計算ソフト等を利用して以下のように、差し込みたい項目と内容の一覧表を作成します。

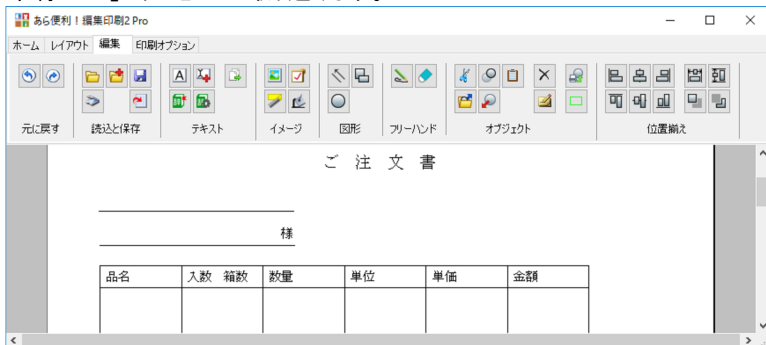
	A	B	C	D	E	F
1	名前	会社名	部署	住所1	生年月日	備考
2	佐藤 花子	A株式会社	総務部	東京都千代田	1974/3/28	新規
3	鈴木 四郎	B株式会社	第2営業部	神奈川県横浜	1989/9/16	郵便不可
4	田中 令	C株式会社	人事部	山梨県甲府市	1971/12/11	
5	山田 太郎	D株式会社	財務部	東京都港区	1955/8/22	
6	早乙女 剛	E株式会社	広報部	千葉県船橋市	1969/7/16	
7	松本 次郎	F株式会社	法務部	茨城県水戸市	1959/8/6	
8	小林 翔平	G株式会社	営業部	東京都江戸川	1985/4/15	新規
9	中村 千尋	H株式会社	企画部	愛知県名古屋	1966/10/9	
10	高橋 五郎	I株式会社	営業3部	千葉県市川市	1975/5/4	
11	伊藤 沙織	J株式会社	厚生部	東京都千代田	1975/3/21	
12						
13						
14						

1 行目は項目名とし、ここでは「名前」、「会社名」、「部署」、「住所」等の項目を設定します。2 行目以降には実際に印刷する内容を入力していきます。入力が終わったら、「CSV(カンマ区切り)形式」にてファイルを保存します。



※ 差し込み印刷に使用するデータは必ず CSV 形式で保存してください。

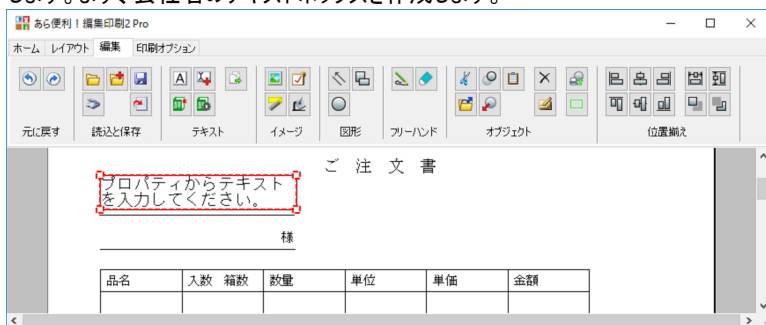
2. ワープロやPDFファイル等から、フォームを差し込む文書の印刷操作を行い、「編集印刷2 Pro」のプレビューに取り込みます。



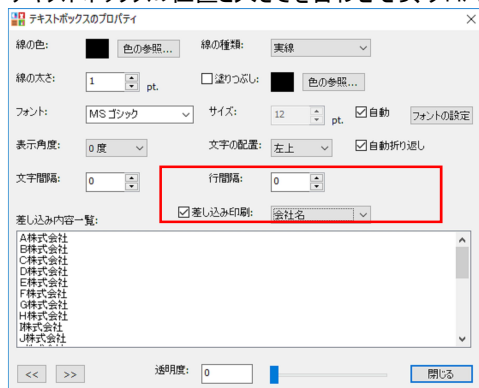
3. 次に、最初に作成した CSV ファイルを読み込みます。描画ツールバーの「差し込み

データを選択する」アイコン  をクリックして、作成した CSV ファイルを選択します。

4. その後、対応する項目のテキストボックスを作成し、差し込み印刷するように設定します。まず、会社名のテキストボックスを作成します。



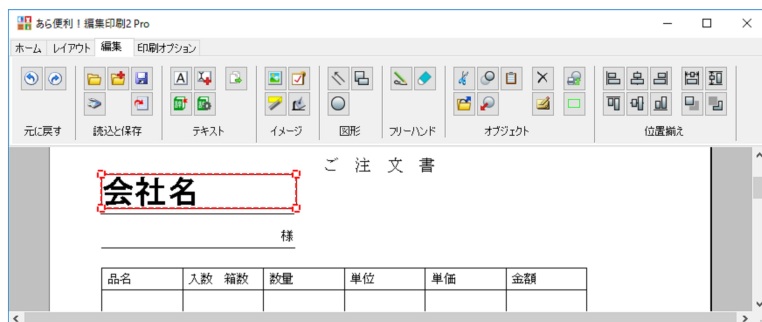
テキストボックスの位置と大きさを合わせたら、プロパティを開きます。



差し込み印刷を選択できるようになっていますので、チェックを入れて、「会社名」の項目を選択します。選択すると、下部に「差し込み内容一覧」として、選択項目の内容の一覧が表示されます。正しいことを確認してから、プロパティを閉じます。

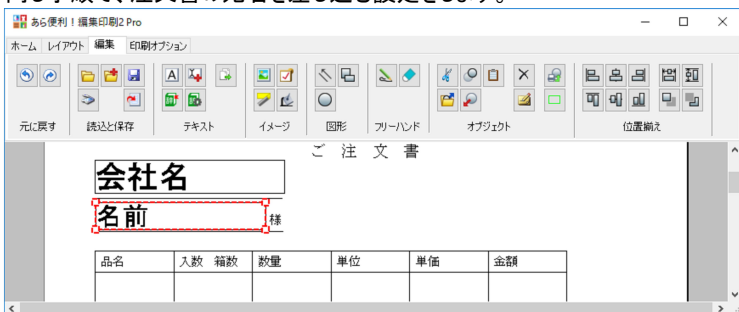
※ CSV の指定が済んでいない場合、「指定差し込み印刷」をチェックできません。

3. の CSV ファイルの読み込みを先に実行してください。

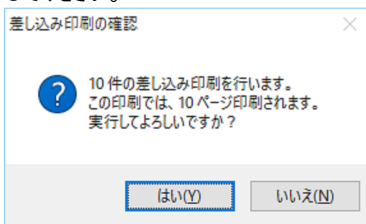


プレビュー画面上には、項目名が表示されます。実際に印刷するときには、ここは各行の内容に置き換わります。

5. 同じ手順で、注文書の宛名を差し込む設定をします。



6. 項目が作成できたら、実際に印刷です。印刷するときには、取り込んだ CSV の内容の行数と同じだけの回数、印刷が繰り返されます。今回の例では、10 行分の内容がありますので、10 回の印刷が繰り返されます。元ドキュメントの方は 1 ページですので、 $10 \times 1 = 10$ ページの印刷が行われます。なお、両面印刷が設定されており、割り付けを加味した結果ドキュメントが奇数ページになる場合、裏面に当たる部分に空白ページを自動的に追加します。これにより、差し込み印刷の結果が、別の差し込み印刷の結果の裏面に印刷されてしまうことを防ぎます。印刷ツールバーの「印刷」または「節約して印刷」を選択すると、対応した方法で印刷を行います。次のような確認が出ますので、内容を確認して印刷を実行して良ければ、「はい」を選択してください。



元文書のデータを印刷せず、差し込んだテキストのみを印刷したい場合には、「描画オブジェクト」ツールバーにある「オブジェクトのみを印刷」を選択します。フォーム印刷済みの既存の用紙を使用する場合には、こちらから印刷してください。

なお、スキャナでスキャンした画像を「編集印刷 2 Pro」に印刷するなどして、位置決め基準にするかと思いますが、「編集印刷 2 Pro」のプレビューに表示した時点での取り込み位置ずれ、および、最終的な印刷に使うプリンタの特性などにより、プレビュー画面上の位置とは多少ずれた位置に印刷されることがあります。1 件のみの印刷でずれ具合を確認し、必要な場合は補正してから印刷してください。

7. 実際に印刷を実行すると、CSV から取り込んだ内容が 10 枚印刷されます。

The diagram illustrates three overlapping invoice forms, labeled A, B, and C, each with a red circle highlighting the company and customer names. Each form includes a table with columns for item name, quantity, unit, price, and amount.

Form A:

ご注文書

A 株式会社
佐藤 花子 様

品名	入数	箱数	数量	単位	単価	金額

Form B:

ご注文書

B 株式会社
鈴木 四郎 様

品名	入数	箱数	数量	単位	単価	金額

Form C:

ご注文書

C 株式会社
田中 令 様

品名	入数	箱数	数量	単位	単価	金額

第12節 オブジェクトの位置揃え

複数の描画オブジェクトの位置を縦、横に揃えたり、指定したオブジェクトの表示位置を前面、背面へ移動したりすることができます。位置揃えの操作は、「編集」タブの「位置揃え」から実行します。

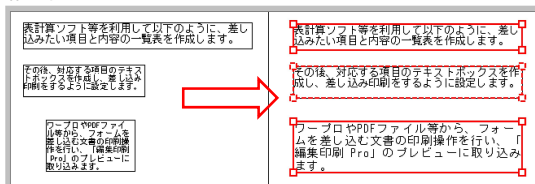


位置揃えの例

左揃え



幅を揃える



前面へ移動



位置揃えボタンの説明

左揃え 	選択したオブジェクトの配置を水平方向に左揃えします。
水平中央揃え 	選択したオブジェクトの配置を水平方向に中央揃えします。
右揃え 	選択したオブジェクトの配置を水平方向に右揃えします。
上揃え 	選択したオブジェクトの配置を垂直方向に上揃えします。
垂直中央揃え 	選択したオブジェクトの配置を垂直方向に中央揃えします。
下揃え 	選択したオブジェクトの配置を垂直方向に下揃えします。
幅を揃える 	選択したオブジェクトの幅を揃えます。
高さを揃える 	選択したオブジェクトの高さを揃えます。
前面へ移動 	選択したオブジェクトを前面へ移動します。
背面へ移動 	選択したオブジェクトを背面へ移動します。

第5章 オブジェクトの詳細設定

第1節 テキスト

テキスト入力(「編集」タブ-「テキスト」)の設定について

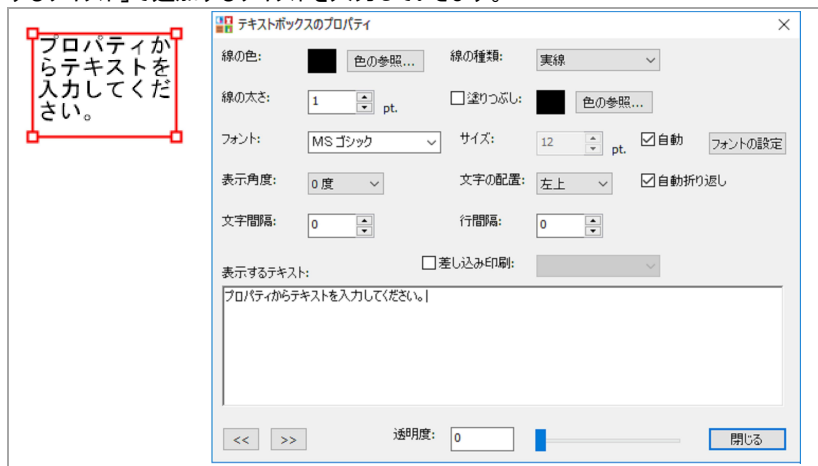


テキストボックス

テキストボックスをクリックすると、テキストボックスが選択され、赤枠で囲われた表示になります。4 隅の四角をマウスの左ボタンでドラッグすることで、領域の位置や大きさを変更することができます。また、枠線部分をマウスの左ボタンでドラッグすることで、大きさを変えることなく平行移動が可能です。

なお、メモ帳やワープロソフト、ブラウザなどから、テキストデータをコピーしてきて、貼り付けることも可能です。保持されるのは文字データのみで、フォントや装飾の情報は失われます。テキストデータを貼り付けると、自動的にテキストボックスが生成され、その中にテキストデータとして設定されます。

右クリックメニューからプロパティを表示すると、以下のような画面が表示されます。「表示するテキスト」で追加するテキストを入力していきます。



<テキストボックスの設定内容>

線の色	テキストボックスの枠線の色を変更します。「色の参照」を選択すると、以下のような画面が表示されます。基本色の中に希望の色がない場合、「色の作成」をクリックし好みの色を作成します。 
線の種類	テキストボックスの領域を囲う線の種類を選択します。実線/破線/点線/一点鎖線/二点鎖線から選択できます。
線の太さ	テキストボックスの領域を囲う線の太さを選択します。単位はポイントです。枠線なしの場合、線の太さを0ポイントに設定します。
塗りつぶし	チェックすると、ボックスの背景を指定した色で塗りつぶします。チェックしていない場合には、透明になります。塗りつぶす場合には、「色の参照」で塗りつぶし色を選択してください。
フォント	表示に使うフォントを選択します。下向き三角をクリックすると一覧が表示されますので、そこから選択してください。太字や斜体などの装飾や、文字色などを設定したい場合には、「フォントの設定」ボタンから行ってください。
サイズ	フォントのサイズを設定します。「自動」になっている場合には使用できません。単位はポイントになります。
自動	フォントサイズを自動設定にする場合にはチェックを入れます。手動で数値を設定するには、チェックを外します。チェックが入っている場合、現在設定されているテキストボックスの領域内に収まる範囲で、フォントサイズを最大化します。
フォントの設定	フォントの詳細設定を行います。フォント名やサイズの他に、太字や斜体などのスタイル、取り消し線などの装飾、フォントの色もここで設定できます。フォントサイズ自動になっている場合、ここでの設定は無視されます。

表示角度	文字を回転して表示可能です。元文書のページが回転されている場合など、ページの向きに合わせて回転することが可能です。90度単位で回転が行えます。
文字の配置	テキストボックス内での文字の配置を選択できます。上下左右中央の位置を指定できます。
自動折り返し	テキストボックスの右端で、テキストを自動折り返しするかどうかを選択します。フォントサイズ自動で、複数行になるのを防ぐ場合などにご利用ください。
表示するテキスト	表示/印刷するテキストを編集する画面です。ここに入力したものが、テキストボックス内に表示/印刷されます。改行を入れることも可能です。
差し込み印刷	差し込み印刷用CSVファイルが読み込まれている時のみ、選択できます。チェックすると、差し込み項目が選択可能になります。印刷時、選択した項目に次々に置き換わって印刷されます。項目を選択すると、選択した項目のデータが下に表示されます。
透明度	オブジェクトの透明度を 0%～100% の間で指定します。数値の入力のほか、スライダーを動かすことでも設定可能です。なお、文字部分については、透明度は適用されません。

	れている部分があると、うまく認識されません。
クリックした位置を認識(連続モード)	このボタンを押すと、設定画面が閉じます。プレビュー画面上のページ内の任意の場所をクリックすると、その地点を囲う枠線を探して、それに合わせてテキストボックスを自動作成します。作成時の枠線の色や文字色などの設定は、この画面での設定に合わせられます。こちらは、テキストボックスが作成されても通常モードには戻りません。作りたい地点を次々とクリックしていくことで、まとめてたくさんのテキストボックスの作成が可能です。作成モードを抜けるには、右クリックをしてください。点線で囲われた部分や、枠線に途切れている部分があると、うまく認識されません。
ページ全体を認識	このボタンを押すと、ページ全体をスキャンして、入力欄として解釈できる場所を探します。入力欄と解釈されるのは、ページに対してほぼ水平・垂直である長方形のみです。角が丸くなっている欄や、点線で囲われている場合、枠線に途切れている部分がある場合には、うまく認識されません。PC のスペックと、文書や画像のサイズによっては、スキャンには多少の時間がかかることがあります。

<「ページ全体を認識」を選択した場合の例>

画像認識で一定のサイズ以上のものを対象に、その位置にテキストボックスを追加します。複数ページ選択して、一括処理も可能です。個々のテキストボックスを選択しテキストを入力できます。

銀行振込依頼書

申請日: 平成 年 月 日

所属 氏名 印

平成 年 月より下記の通り、振込を依頼します。

種類 給 与 ・ 賞 与 ・ その他 ()

振込銀行名 銀行 店番号 支店名 支店

フリガナ

預金者名

預金の種類 普通・当座 口座番号

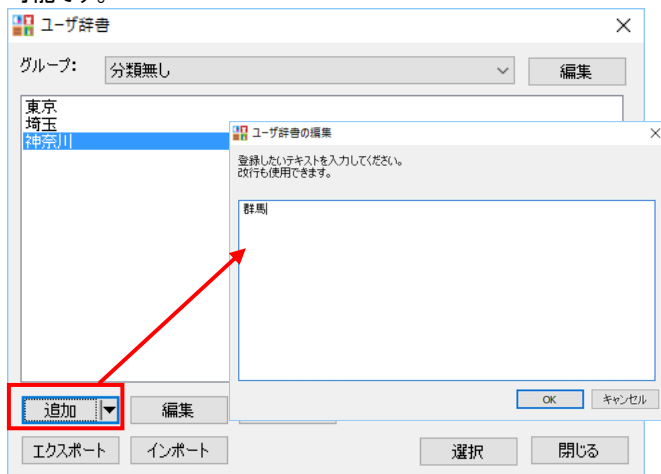
所属 電話番号

この枠一つ一つが自動認識で生成されたテキストボックスです。



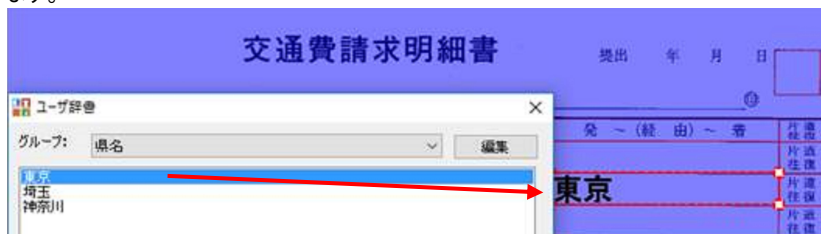
ユーザ辞書の管理と選択

クリックすると次の「ユーザ辞書」画面が表示されます。「追加」ボタンで「ユーザ辞書の編集」画面を表示して、辞書登録を行います。「編集」ボタンでグループを作成することもできます。作成した辞書はエクスポート、インポートでき、共有して利用することもできます。インポート時には、既存の辞書と結合するか、既存の辞書を破棄して置き換えるか選択可能です。



ユーザ辞書から貼り付け

選択したテキストボックスに、登録しておいたユーザ辞書からテキストを選択して貼り付けます。



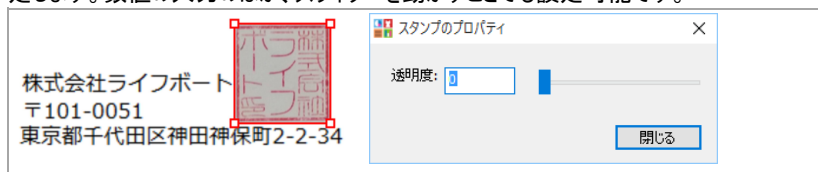
第2節 イメージ

イメージ挿入(「編集」-「イメージ」)の設定について



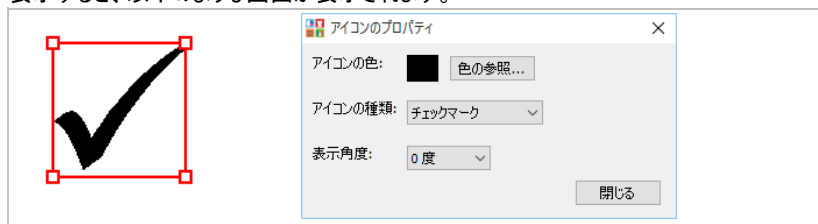
スタンプオブジェクト

スタンプオブジェクトをクリックすると、赤枠で囲われた表示になります。4隅の四角をマウスの左ボタンでドラッグすることで、領域の位置や大きさを変更することができます。なお、元の画像と同じ縦横比になるようにしか変形できません。また、枠線部分をマウスの左ボタンでドラッグすることで、大きさを変えることなく平行移動が可能です。プロパティを表示すると、以下のような画面が表示されます。オブジェクトの透明度を 0% ~ 100%の間で指定します。数値の入力のほか、スライダーを動かすことでも設定可能です。



アイコンオブジェクト

アイコンオブジェクトをクリックすると、赤枠で囲われた表示になります。4隅の四角をマウスの左ボタンでドラッグすることで、領域の位置や大きさを変更することができます。なお、元のアイコン画像と同じ縦横比になるようにしか変形できません。また、枠線部分をマウスの左ボタンでドラッグすることで、大きさを変えることなく平行移動が可能です。プロパティを表示すると、以下のような画面が表示されます。



＜アイコンオブジェクトの設定内容＞

アイコンの色	アイコンの色を設定します。「色の参照」から、任意の色に設定してください。
アイコンの種類	表示するアイコンの形状を変更します。チェックマーク/丸/黒丸/バツ/三角/黒三角/四角/黒四角から選択可能です。 
表示角度	アイコンを表示/印刷する向きを変更します。90 度単位で変更可能です。



マーカー

マーカーオブジェクトをクリックすると、赤枠で囲われた表示になります。4隅の四角をマウスの左ボタンでドラッグすることで、領域の位置や大きさを変更することができます。また、枠線部分をマウスの左ボタンでドラッグすることで、大きさを変えことなく平行移動が可能です。プロパティを表示すると、以下のような画面が表示されます。

この度は、ライフポート製品を
ます。ライフポートサポートセ
を快適にご利用いただくため
この冊子は、サポートセンタ

四角オブジェクトのプロパティ

線の色: [色の参照...](#)

線の太さ: pt.

線の種類: 実線

☒ 塗りつぶし: [色の参照...](#)

透明度:

[閉じる](#)

＜マーカーの設定内容＞

線の色	マーカーオブジェクトの領域を囲う線の色を選択します。「色の参照」から任意の色に設定してください。
線の太さ	マーカーオブジェクトの領域を囲う線の太さを設定します。単位はポイントとなります。枠線なしにしたい場合には、0 ポイントに設定してください。
線の種類	実線/破線/点線/一点鎖線/二点鎖線から選択できます。
塗りつぶし	チェックすると、マーカーオブジェクトの背景を指定した色で塗りつぶし

	ます。チェックしていない場合には、透明になります。塗りつぶす場合には、「色の参照」で塗りつぶし色を選択してください。
透明度	オブジェクトの透明度を 0% ～100%の間で指定します。数値の入力のほか、スライダーを動かすことでも設定可能です。



マスクオブジェクト

マスクオブジェクトをクリックすると、赤枠で囲われた表示になります。4隅の四角をマウスの左ボタンでドラッグすることで、領域の位置や大きさを変更することができます。また、枠線部分をマウスの左ボタンでドラッグすることで、大きさを変えることなく平行移動が可能です。マスクオブジェクトに「プロパティ」の画面はありません。

ます。ライフポートサポートセンターは、
を快適にご利用いただくために必要な
の利用
載されています。サポートセンター
必ずご覧ください。

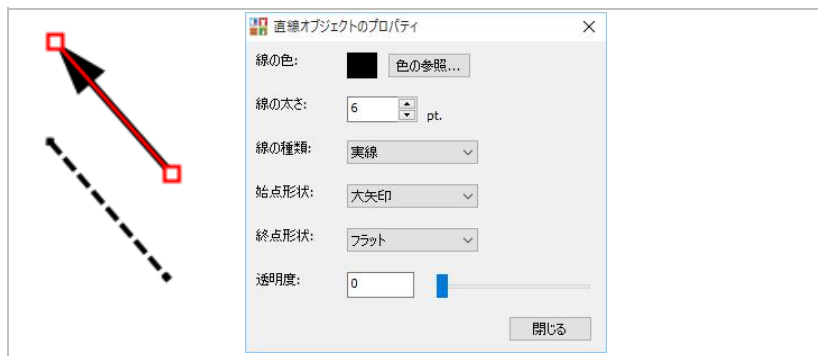
第3節 図形

イメージ挿入(「編集」-「図形」)の設定について



直線オブジェクト

直線オブジェクトをクリックすると、直線オブジェクトが選択され、赤線と両端の四角でハイライトされた表示になります。両端の四角をマウスの左ボタンでドラッグすることで、線の位置や向き、長さを変更することができます。なお、追加直後の状態で左上の四角が始点、右下の四角が終点として扱われます。また、赤線部分をマウスの左ボタンでドラッグすることで、長さや向きを変えることなく平行移動が可能です。プロパティを表示すると、以下のような画面が表示されます。



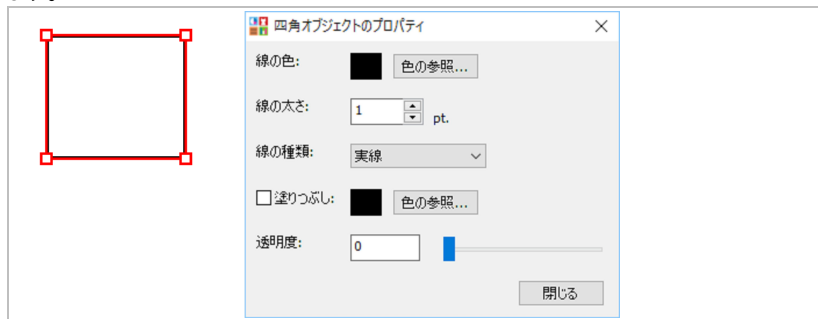
<直線オブジェクトの設定内容>

線の色	直線の色を選択します。「色の参照」から任意の色に設定します。
線の太さ	線の太さを設定します。単位はポイントとなります。矢印などの装飾を付けた場合、線の太さに依存して大きさが変化します。
線の種類	実線/破線/点線/一点鎖線/二点鎖線から選択できます。
始点形状	始点の形状を選択します。フラット/四角/丸/三角/四角アンカー/丸アンカー/ダイヤアンカー/小矢印/中矢印/大矢印から選択可能です。
終点形状	終点の形状を選択します。フラット/四角/丸/三角/四角アンカー/丸アンカー/ダイヤアンカー/小矢印/中矢印/大矢印から選択可能です。
透明度	描画した線の透明度を 0% ～100%の間で指定します。数値入力その他、スライダーを動かすことでも設定可能です。



四角オブジェクト

四角オブジェクトをクリックすると、四角オブジェクトが選択され、赤枠で囲われた表示になります。4隅の四角をマウスの左ボタンでドラッグすることで、領域の位置や大きさを変更することができます。また、枠線部分をマウスの左ボタンでドラッグすることで、大きさを変えずに平行移動が可能です。プロパティを表示すると、以下のような画面が表示されます。



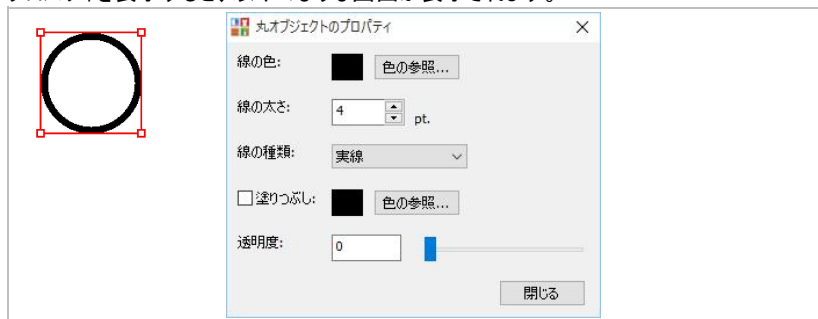
< 四角オブジェクトの設定内容 >

線の色	四角オブジェクトの領域を囲う線の色を選択します。「色の参照」から任意の色に設定してください。
線の太さ	四角オブジェクトの領域を囲う線の太さを設定します。単位はポイントとなります。枠線なしの場合には、0 ポイントに設定します。
線の種類	実線/破線/点線/一点鎖線/二点鎖線から選択できます。
塗りつぶし	チェックすると、四角オブジェクトの背景を指定した色で塗りつぶします。チェックしていない場合には、透明になります。塗りつぶす場合には、「色の参照」で塗りつぶし色を選択してください。
透明度	描画した線の透明度を 0% ～100%の間で指定します。数値入力その他、スライダーを動かすことでも設定可能です。



丸オブジェクト

丸オブジェクトをクリックすると、丸オブジェクトが選択され、赤枠で囲われた表示になります。4隅の四角をマウスの左ボタンでドラッグすることで、領域の位置や大きさを変更することができます。また、枠線部分をマウスの左ボタンでドラッグすることで、大きさを変えることなく平行移動が可能です。実際の丸は、枠線に内接する位置に表示/印刷されます。プロパティを表示すると、以下のような画面が表示されます。

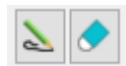


<丸オブジェクトの設定内容>

線の色	丸オブジェクトの領域を囲う線の色を選択します。「色の参照」から任意の色に設定してください。
線の太さ	丸オブジェクトの領域を囲う線の太さを設定します。単位はポイントとなります。枠線なしにしたい場合には、0 ポイントに設定してください。
線の種類	実線/破線/点線/一点鎖線/二点鎖線から選択できます。
塗りつぶし	チェックすると、丸オブジェクトの背景を指定した色で塗りつぶします。チェックしていない場合には、透明になります。塗りつぶす場合には、「色の参照」で塗りつぶし色を選択してください。
透明度	描画した線の透明度を 0% ～100%の間で指定します。数値入力の場合、スライダーを動かすことでも設定可能です。

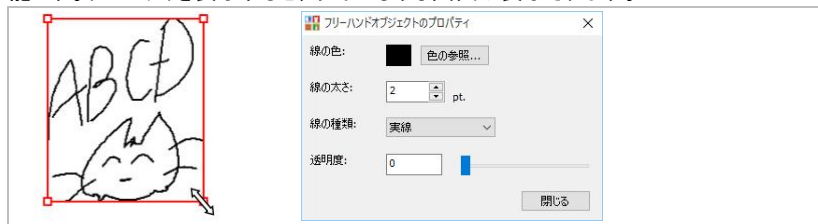
第4節 フリーハンド

フリーハンド(「編集」-「フリーハンド」)の設定について



フリーハンドオブジェクト

フリーハンドオブジェクトをクリックすると、赤枠で囲われた表示になります。4隅の四角をマウスの左ボタンでドラッグすることで、領域の位置や大きさを変更することができます。また、枠線部分をマウスの左ボタンでドラッグすることで、大きさを変えることなく平行移動が可能です。プロパティを表示すると、以下のような画面が表示されます。



<フリーハンドオブジェクトの設定内容>

線の色	線の色を選択します。「色の参照」から任意の色に設定します。
線の太さ	線の太さを設定します。単位はポイントとなります。
線の種類	実線/破線/点線/一点鎖線/二点鎖線から選択できます。
透明度	描画した線の透明度を 0% ～100%の間で指定します。数値入力 の他、スライダーを動かすことでも設定可能です。



消しゴム

フリーハンド描画中に消しゴムアイコンをクリックすると、消しゴムモードに切り替えて描画中の内容を修正することができます



使用許諾契約書

当製品をご使用前に、下記のライセンス契約書を必ずお読みください。本使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、下記に示されたライフポート ソフトウェア製品（以下「ソフトウェア製品」といいます）に関してお客様（以下「甲」といいます）と株式会社ライフポート（以下「乙」といいます）との間に締結される契約書です。ソフトウェア製品を開封、インストール、複製、または使用することによって、お客様は本契約の条項に同意し、契約が成立したものとします。本契約の条項に同意されない場合、株式会社ライフポートは、お客様にソフトウェア製品のインストール、使用または複製のいずれも許諾できませんので、予めご了承ください。

第1条 定義

- ソフトウェア製品
本契約に基づき、乙が甲に提供するプログラムおよび関連資料を包括していい、改良版のソフトウェア製品が提供された場合には、当該改良版のソフトウェア製品をいう。
- プログラム
機械読取可能な形式で提供されるデータ処理プログラムをいう。
- 関連資料
プログラム以外の資料で、乙がプログラムの使用に関連して提供する、乙指定の資料をいう。

第2条 契約の目的

乙は甲に対しソフトウェア製品を非独占的に使用する譲渡不能な権利を許諾する。

第3条 契約期間

本契約は、本契約成立時から、甲または乙が本契約に従い解約するまで存続する。

第4条 使用权

- 甲は、プログラムを1ライセンスに付き1台のコンピュータで使うことができる。また、印刷物の形で提供されたソフトウェア製品を本契約の目的に従って使うことができる。
- 甲は、本契約に基づく使用权につき再使用权を設定し、またはソフトウェア製品もしくはその複製物を第三者に譲渡、転貸もしくは占有の移転をしてはならない。ただし、甲の管理の下で甲のためにソフトウェア製品を第三者に使用させる場合はこの限りでなく、甲の使用とみなすものとする。
- 甲がマルチライセンスパックを購入した場合、本契約以外の書面（パッケージ等）において指定される許諾数だけのコンピュータにインストールできる。

第5条 複製権

甲は、ソフトウェア製品の一部または全部をバックアップコピー作成のためにのみ、複製及び複写することができる。甲は上記の目的以外のために、ソフトウェア製品の一部または全部を、メディアを問わず、転写、複製または複写してはならない。

第6条 危険負担

納入前に生じたソフトウェア製品および記録媒体の喪失または損傷は、甲の責に帰すべきものを除き乙の負担とし、納入以後に生じたこれらの損害は乙の責に帰すべきものを除き甲の負担とする。

第7条 保証

- ソフトウェア製品の媒体及び関連資料に、物理的欠陥がある場合、甲がソフトウェア製品を購入してから90日間に限り、無償で乙より交換を受けることができる。
- 乙は、ソフトウェア製品が甲の特定の使用目的に適合することを保証するものではない。また、前項において明示する場合を除き、本ソフトウェア及びサポートサービスに関して一切の保証を行わないものとする。
- 前各項の定めは、本契約に基づく法律上の瑕疵担保責任を含む、乙の保証責任のすべてを指定したものである。

第8条 乙の責任および責任の制限

- プログラムの不稼働を含む稼働不良のすべての場合において、乙の責任は誤りの訂正に合理的な努力を尽すことに限られるものとする。
- 法律上の請求の原因の種類を問わず、乙は、法律上許容される最大限において、本ソフトウェア製品の使用もしくは使用不能、サポートサービスの提供もしくは提供不能またはその他本契約書に関して生じる特別損害、付随的損害、間接損害、派生的損害、またはその他の一切の

損害（逸失利益、機密情報もしくはその他の情報の喪失、事業の中断、人身傷害、プライバシーの喪失、誠実義務または合理的な注意義務を含めた義務の不履行、過失、またはその他の金銭的損失を含むがこれらに限定されない）に関しては、乙の過誤、不法行為（過失を含む）、無過失責任、契約違反または保証違反の場合であっても、一切責任を負わないものとする。たとえ、乙がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様である。

3. 本ソフトウェア又はサポートサービスに起因して、甲、もしくはその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、乙は一切の責任を負わないものとする。本契約のもとで、理由の如何を問わず、乙が甲、又はその他の第三者に対して負担する責任の総額は、損害の原因となった本ソフトウェアに対して本契約のもとで甲が実際に乙へ支払った対価の100%を上限とする。

第9条 著作権等の侵害に関する損害賠償責任

1. ソフトウェア製品の使用が、第三者の著作権または工業所有権等の知的所有権を侵害したという理由で、甲が第三者より請求を受けた場合には、甲が次の各号所定のすべての要件を満たす場合には、乙の責任と費用負担で、当該請求を処理解決するものとし、甲に一切の損害を及ぼさないものとする。
 - (1) 甲が第三者から請求を受けた日から速やかに、乙に対し請求の事実および内容を知ること。
 - (2) 甲が第三者との交渉または訴訟の遂行に関し、乙に実質的な参加の機会および決定の権限を与え、ならびに必要な援助をすること。
2. 乙は、甲が次の各号の一に該当する場合には、甲に対し前項所定の責任を負わない。
 - (1) 甲が乙提供以外のプログラムと組合わせて使用したこと起因するとき。

- (2) 甲が本契約に違反してソフトウェア製品を使用したことに起因するとき。

第10条 ソフトウェア製品の変更または改作

甲は、自己の使用のため、必要な場合を除き「乙の許可なく」ソフトウェア製品を変更、または改作してはならない。

第11条 解約および解除

1. 甲は、乙に30日前の書面による通知をして、任意に解約することができる。
2. 甲または乙は、相手方に次の各号に掲げる事由の1が生じたときには、なんらの催告なしに直ちに本契約を解除することができる。
 - (1) 支払いの停止または破産、和議開始、会社更正手続開始、会社整理開始もしくは特別清算開始の申立があったとき。
 - (2) 手形交換所の停止処分を受けたとき。
3. 甲または乙は、本契約に違反すること等相手方の債務不履行が相当期間を定めてした催告後も是正されないときは、本契約を解除することができる。
4. 前各項の適用によりソフトウェア製品の使用権が消滅した場合には、甲は返還または破棄の手続きを行うものとする。

第12条 ソフトウェア製品の返還または破棄

1. 甲は、使用権の消滅後2週間以内にソフトウェア製品およびすべての複製物（変更または改作されたものを含む）を、乙に返還または破棄するものとする。
2. 甲は、前項による返還または破棄と同時に、前項所定の事実を証明する書類を乙に提出する。

第13条 合意管轄

本契約に関して訴訟の必要が生じた場合には、乙本店所在地を管轄する裁判所を専属管轄裁判所とする。

第14条 協議

本契約に関して疑義が生じた場合には、両当事者は信義誠実の原則に従い協議するものとする。

あら便利！編集印刷 2 Pro 利用ガイド

2016 年 12 月 1 日

第 1 版

(非売品)

著作 株式会社ライフポート

発行所 株式会社ライフポート

東京都千代田区神田神保町 2-2-34

©2016 株式会社ライフポート
